連日

VZ

悩み

砲を同濟路に引入れ柵をやぶつて野砲陣地を敷く我軍

(1)敵陣深~

進み入り逃ぐる敵兵を

撃する勇敢なる我兵

(2) 閘北方面の新戰線 同濟路天通庵路角の支

那學校を占據しその校庭に野砲をに於ける我軍の活躍振り (3)野

(3)野

上海に活躍の我陸戰隊

構内にあつた敵軍は第一個と江東方動に潰走

貨物倉庫を爆撃

「能登品の朦朧は本日中果漱の火薬庫を朦蜒する答談機路の貨物資庫を繋破した、 これがため

ほしき建物三棟を粉碎した、これがため廣東公園右寄りの柳鶯溝一ートル前が柳鶯路の敵陣にOO斤の大爆彈數個を投下し敵の兵舎とお『上海十一日教』我爆撃機〇率は本日午前十一時野破隊に代り紅江クリークの北端の我が第一線百メ

柳営溝一帯に

りが爆撃機活躍

0

潰走した 横築された塹壕も木端微塵に粉碎逐に正午過ぎ江灣方面にが頑强に構築された塹壕も木端微塵に粉碎逐に敵軍は我軍の砲撃でさすは午前十時から縁兵舎目がけて統總なる破撃隊がした(上海十一日餐) 開北六三草の西方の柳繁路附近に酸の兵舎あり大部隊居るを養見したので我野破隊(上海十一日餐) 開北六三草の西方の柳繁路附近に酸の兵舎あり大部隊居るを養見したので我野破隊

は野砲機關銃の音で震動して居るて居る、一方午前十時半江灣西方の敵は野砲を以て我右翼の砲撃を開始し我軍も應戰し前線機關銃で敵陣をは射中で敵は機關銃高射砲で之れに應じ空、陸との猛烈なる戦闘が展開され、上海十一日發』航空母艦加賀の戰闘機は本日午前十時過ぎ敵陣地上空に飛來し、空中から

日

八時よ

日午前八時酸は吳淞側對岸水安

歩兵砲迫撃砲を以て猛烈な

【上海十一日餐】 今朝のわが野砂

砲彈命中

爆撃により悉く破壊せられ目下繋 に失つたれば異後破墜の備破は我破魃及び ぎないか。 【東京十一日餐】陸軍省着電によ | 寒内にあっ

極寒さしての價値は既長器は歩兵砲駿門に過

敞兵舎に

敵營

を砲撃

滴

射ん浴せついある、難に重賞を

わが加賀の

爆撃機に

T

は高射砲で

0

抵抗を織け日毎の

頑強な

くる、海暗い事務所の記念管室の

軍はクリ

東はクリーク河に沿ひ一里に直る

の間も類りに砂壁は歌きわたつ

ら類りに猛射を浴びせてゐる、

避繁物の三階か

政武の人口にその巨大な顧問た連

▼…班長殿 からむられ

足で困つてゐるよ

十一日上海にて

加藤特派員發

小癪にも頑強に抵抗する敵軍

張より

つた砲弾

(刊日)

召除除歸休兵

編成式を學行の節、なは涨線欲地の輸提として安國軍を編成しこれを目下級天には帰願兵三千名あるが今回これ終

際令が飛ぶ 【長春丸無電】 路方面に四骸とこの間次ぎり 路方面に四骸とこの間次ぎり 吳凇の敵に がの酸兵舎に命中と同所にの砲撃で砲弾は見事に四明 蛛の子を散らす処く間北方館に透明強に抵抗中の敵約五六百名は炯がの酸兵舎に命中し同所に懸居し わが安宅を 齊射擊

區域内にあり

日下總領事館軍部で一

「臭米十一日養」本日午前八時過 が果液織の酸は我が時に黙し機関 が大き酸の臭液螺環食庫を粉碎した なも酸の臭液螺環食庫を粉碎した に鞭後の目的な達したうへ我が軍 に変したうへ我が軍 をしたする。 をしたない。 をしたなない。 をしたない。 をしたななな。 をしたななな。 をしたななな。 をしたななな。 艦が殿かに紀元節・選手式を 射撃が浴せたので我将 流にある軍艦安宅、常碧 學行中 紀元節遙拜式 常

永安工場に

いので藤、鷹は今朝春してんだっちの流躍命中してんだっちの流躍命中してんだってん

時治離は最近最も猛然な遊戲を試。

吳淞の砲臺は みたが我軍は悉く之れを撃退した 敵の機關銃弾

夕張艦上に飛來す

は十一日早期より我軍艦が掘の甲|に黙し破壁の戦傷をなしつゝあり『上海十『田菱』艦の水銃機關銃|板上に雨の虹く飛來が張ではこれ

價値を失

陸軍本省

の着電

| 『上海十一日餐』 | 天本出版主演 わが| 電中歩兵二中隊は十一日大沽出版主演中 わが| である 佛國軍上海へ 十一日大沽を出發 わが軍の

展を願いた、これがため警官隊出 悪動か径び窓囃子を破壊する等級 悪動か径び窓囃子を破壊する等級

共産黨員が

吳淞未攻略 外人記者團が

江木翼氏重態

入院再手術か

佛步兵隊

續点着滬

に上海十月登 | 作画 軍艦エデック は | 上海十月登 | 作画 軍艦エデック は | 上海に入港した、天津からの | 下 大陸級八百名 た乗せ本日午後三時 | 大陸級八百名 た乗せ本日午後三時 | 大陸級八百名 た乗せ本日午後三時 | 大陸級八百名 た乗せ本日午後三時 | 大陸級八百名 | 大陸級 | では本日正午郷領事館総村繁部の窓 人記者は実績実験な時に攻撃せれか艇る のになぜ職機能に攻撃せれか艇る のになぜ職機能に攻撃せれか艇る のになぜ職機能に攻撃せれか艇る 不思議がる

きのふ母國へ 避難民四百名 は機めて卓虚さるべき儒祭: 接続 は機めて卓虚さるべき儒祭: 接続 は機めて卓虚さるべき儒祭: 接続を は機めて卓虚さるべき儒祭: 接続 観られ密性を象遣はれてるる小山外様に入院座塘駅するものされの 日下內務局長 奉天で挨拶廻り

事代完養の二十八日夜まで上海の「滞在の豫定である「奉天電話」がは本日午後上海養婦國するが我「曜本祭、巻方館を帰跡し然物を連続でなき辞職民四百名は無償頭艦「曜本祭、巻方館を帰跡し然物を連続される事業込みを開始したが「本マトホテルに入ったが帰三日本に本日午後上海養婦國するが我」「下新任國東縣内務局長は十一日本

るが支那紙は支那軍の大勝利なご つとあり と餐車に難し戦闘中止を続じて店 路車に合派 に蔣宗程以下國府要人連は大線棚 め顧祝同軍 顧軍の下級將校 十九路軍に合流 支那紙の虚報を信じ

路軍に合流しかつ便を除た組織した鬼殿間軍下緩勝板らは職次十九

|東京十一日数||四ンドン十一日||一般以外に使用と居らざることがボース下記の整理と関係で解さな。とて空気緩和されて来たりと下記の整理とは、とて空気緩和されて来たりと下記の整理と同様が開けません。 倫敦の對日空氣 著しく緩和さる 上海事件の眞相判明

か

で編することゝなり兩三日中に正式順兵は將來の獨立國家 國防 軍の前 を訪ふ

處西一樣三工場屋上

郎死十六名百年

度さずるとか保障する冒適告とれるとなるとか保障がようでは、 一日午後三時中アメリカ東洋糖学 が続って米國軍の評価に戦力の 機が続って米國軍の評価に戦力の 機が続って米國軍の評価に戦力の 機が続って米國軍の評価に戦力の というでは、大地では、 できるとか保障する冒適告とれる。 できるとか保障する冒適告とれる。

我驅逐艦や猛射す

北滿の兵匪

明日の活力を養ふ

運動家の心携藥「妙布」

精力の消耗に依

黄浦江に堅固な陣地を築きて

藤、蔦下流に轉錨

移したのだ!言つて居る をしたのだ!言つて居る

出の方針 支那良民救

退す

本目から支那人た袋出する事さな 出來の支那人が北部に漂山あるた 出來の支那人が北部に漂山あるた

敵の逆襲を撃

は南下張揚げつ、あるが○師際は 我軍一部 本領事館襲擊 ハンブルグ日 南下引揚げ 疲勞さいふものは 心身活動の結果 つて血管内に毒素が生する時に起る感じの調で 此義

るので 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません 活力を充分に回復致します て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥劑で わづか一夜の貼用で心地よく一掃し 労家の缺くべからざる御家庭常備薬であります どんなに烈しい肩腰のコリも 能効治主 過勞の症 胸咽喉の痛 5 肩腰のコリ 運動家はじめ 5 明日の新鋭なる 身體の痛みも 筋肉の配り リウマチス 執務家勤 「妙布」 痛。

為里 一五三二十十十圓錢錢錢 築店に有ますの 房藥綱輝邊渡鰈舖本 (番LO六四京東替摄) 組番一H町廣區布藤市京東 我に警告か

| 『路方郎』となれ数十のダンサー連出ログロの代表的観察境たる北四

村井總領事 川路方面にあた数十のダンサー連川路方面にあた数十のダンサー連 連でごったかへした 辨に公債發行 滿洲事變費支

へ編成式を擧ぐ

けふ審査委員會

中將

今日の疲れを癒っ

地方全農作物の六割三分(六六四

重要性

は多からずご言

右の通りである

だもこの地がにお

の南がに位むするため在常塚に近の地がと河北省との境界、山瀬園 の地がと河北省との境界、山瀬園

經濟上より見

機密してゐる

萬六千餘速にすぎなかつたものが職着のその数量は昭和四年度は三

は四十五萬餘魔さなり一

る奉山鐵路

孙村 日 各人かして硬軟

れば内外共に或る轉換を

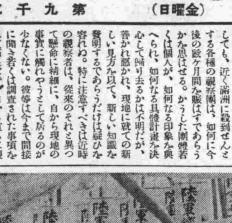
型反

人氣である。これな事質にから高後の大勢な激成せんさしてこの終緯が生んだ時局であり

(日曜金)

九

=





新聞歌、遺族等多數多形、優新たに破かなるա際繋が得けれた、新興は意木隆楸の愛香・ ・ 本月七日歌画民の郷を祭る近衛・職群は風本近衛・職長、加統幣展長大隊長奏我さなり殿監修庭に於いて陸軍 ・ 本月七日歌画民の郷を共に田田ケ谷殿

試みに昭和五年度影祭

中和を力附ける為の人為的手段に復帰とに連続としませる。 に復帰して、被等の生活が事前の常 がに復帰して、被等の生活が事前の常 がに復帰しています。 がはかまが、退 がはかまが、退 源泉であつて、この精神がの。冒險的精神は軈て質行 するの風を盛なららめた。

五名、全勢十三名、新黨等備會二一時故太三百三十七名、民政二百七十一年 井上氏の弔合戰

職策全般に動き協議を遂げたる紹一合戦ななす事に念見一致を観た合町田新選舉委員長を中心に黙選」な總職員と地方遊説に出かけ形の逝去に伴ふ善後策協議のため十一州上氏の懸か慰むる唯一の途であの逝去に伴ふ善後策協議のため十一州上氏の懸か慰むる唯一の途である。 【東京十一日数】民政黨は非上氏一集この際必勝を期して戦ふ事が故る。 意氣込む民政黨

南京は不適當

雄篇の應慕を希望します、な政制豪集の二件は左記の條件を以て登嘉いたします、な新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の三大事業の中、

我社二

大事業の

部

奮つて

滿蒙維新に寄與する

汪精衛氏が洩らす

三百十五名の 當選に全力 選上海十一日数』 注稿館は外人部 者に次ぎのごさく聴る 南京は今後水久に支那の國都に るに不適當である、政府所在地 さしては外國よりの攻撃をかく 容易に受けり場所を選定するな 要する政府は今後の首都さして 確成は半平を選ぶであらう

補第三十七聯隊長C大阪) 歩兵大佐、藤井

洋治

はいいが「一たい

國家の損失

◇審査員及方法 追て發表します

満蒙維新の

◇題意

を祝福するの歌

ない▲所がそこはさすがに流しりわ

沿線へのおみやげは

梅

最新出口式 マポープ 湯も火もいらぬ奇蹟的發明

0

全く火氣を使用しないから火傷や火災の憂ひの〉本品の二二億

連

品質本位桝目確實配達迅速

酷の國▲誰れい

一色もなか

即好評な頂いて居ります

景

電五二二二

一、經對安全 全く火氣を使用しないから火傷や火災の憂ひのない事 電子、衛生上 有効無害の火泉市衛生試驗所試驗費の難品を以て 要急させる健なこさがないのみならず却つて除る酸素を養設 するため健康に的するは勿論等疾者、婦人病者、冷え込りウ するため健康に的するは勿論等疾者、婦人病者、冷え込りウ マチス等には特効があります マチス等には特効があります。 で、經濟上 普通の炬燵の機に手を要せす發熱する熱の素が安 で、經濟上 普通の炬燵の機に手を要せす数熱する熱の素が安 で、經濟上 普通の炬燵の機に手を要せす数熱する熱の素が安

被仰付參謀本部附

均

補添謀本部課長

歩兵大佐 小畑 敏四郎

十回、一回一行十五字語百五十行

◇題意

人の希望

たさで押寄せて「さア日本兵のかかり乗つた支那民衆が珍しもの見 かり乗つた支那民衆が珍しもの見 かり乗つた支那民衆が珍しもの見

羅紗小

倉厚司

本洋行

白米變動相場は

連鎖街の問屋大島屋

電ニニー〇〇番

順きかて ことの見

線に弱した係員一覧は今日ハルビ

政友濫立防止に努む

京十一日数』政友會は十日までに三百三名の公認候補を發表し

| |東京十二日数||陸軍異動(十二日)

死を惜む

◇賞金 一等二百一、六句、一 ◇選 者 西條八十氏 ◇性曲選者 中山晋平氏

選作曲なき場合は中山氏に作曲を依頼することになつて居ますには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當追て應募歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれ

昭和七年一月

の翻録がもたる餘寒かな」 での数も重なるかな▲「貼りビラの数も重なるかな▲「貼りビラ

安徽の山中にでも「監察した」との重に呼楽線送出動したなら興いの重に呼楽線送出動したなら興

家傳藥

効主 能治

● 本品の特長
 本品は左の特長を持つてるます
 1 布剛が接入すびでは、中部十分にて發熱する
 3 優熱の最も早い車が十分にて發熱する
 4 保温さ般熱有効期間の永い事
 5 熱の素が固ることなく般熱かさまたげる盛ひのない事定値一個四十五銭
 ※の素が固ることなく般熱かさまたげる盛ひのない事定値一個四十五銭
 ※の素が固ることなく般熱かさまたげる盛ひのない事定値一個四十五銭

製造

龍

禍州發賣元

電話九六四六番 局

構洲一手販賣元

岩

佐

大連市準德街三丁目

日本軍が松浦に泛進出

これも嘘き判つて見ても此の 顔の監獄に移してある」さ

◆締切期日 三月十五日

住作五名各十圓宛

五節

= = + 月 て之が指導か睽つてならぬ要點で居るここは、政治家の深察して居るここは、政治家の深察しが鬩はされて居る間に、他方に

年

七

和

て盛大に行はれた、市内観沙公園 の萬處を三眼も午後三時報會とたけれたいこの意味に於いて十一大行軍を起し一大デモを揺びつい政府観立部念會は日本のそれにあ 時點龍江濱代理古戦の組織の下に政府観立部念會は日本のそれにあ 時點龍江濱代理古戦の組織の下に政府観立部念會は日本のそれにあ 時點龍江濱代理古戦の組織の下に

車 多級別將 盛大なる戦後會 な 催した の 処國 記念を併せて記念すべく 龍 江ホテル大ホールに然て 日支官民 の 地國記念を併せて記念すべく 龍

型。医したである。 を残る學校管局者が深甚なる者。 を要しない、ましてや第二國民 極要しない、ましてや第二國民

慮が振いついあることは勿論さ

されゆもの多き今日でも得る。尤も政治問題ので

きの

ふ我が紀元の佳節を卜して

いと盛大に擧行す

◆今回の満洲事變が日満日露戦役 原上に重大なることは書々在滿 に配の責任者たる書々父兄は勿 に配の責任者たる書々父兄は勿 に変大なることは書々在滿

低行廢すべ

塔

内以行十五

すらさは傷中

つてては、一角し此の事を以て第一一層氏たる彼等の純似なる學生

注意で明さらいでは要校 所能感である、が での製に最も機宜 での製に最も機宜 である、が。

上版は暗闇客でこつたかへしてるのカナダラグピーチームな代表してスミス君が電職して舞前に燃金のカリ、又楽朝中でスミス君が電職となったがへしてる

・ 解釈で持続の放展があり前途を悪いて名士を根手に一種の無理心

病弱で一種の

十四日行はれる筈だつた第三回号

弓道リ

グ戦

改

(版內市)

春陽の季節さ相俟つて滿蒙熱 は内地到る處に勃興した。事趣 は内地到る處に勃興した。事趣 を惹くやうになったのみでなく 中國人方面でも漸次一般の注意 を惹くやうになった。否な更に が悪くしている。

内地の滿蒙熱

說

ご現地生活者

十日内粉役調査の現在立候補敷は一世が大間壁の影響さる提の不人氣で上野支間壁の影響さる提の不人氣で上 名、地方無応一名、中立四十四名 や 一ても様々三十名内外に留まるべく でも様々三十名内外に留まるべく ない 立候補者百廿名の減少を示す 總選舉

名の減少である ざるべく前

11

2

歌詞を募集

無投票區 十一區に達す

政治家こしての第一人者こ見故が、尚井上さんは朝鮮の事情にはよく理解があつたので朝鮮開替については相當考慮されてをつた、國家多忙の際緊縮方針を一般については相當考慮されてをついては相當考慮されてをいる。

家からお供物であるの質め借しい人物であるの質め借しい人物である

◆事態以来徐學校は想ての運動が を動す可きであると、純真なるもの を動す可きであるともなっても を動す可きであるとも若へてる をかましてや満洲に生れ来だ世 地の名所意様神野大郎を暗局にも 今日本画像家の精神に生れ来だ世 地の名所意様神野大郎を始後 もの名所意様神野大郎を始めるとしまっても はの名所意様神野大郎を始めるとして親 地の名所意様神野大郎を始めるとして親 地の名所意様神野大郎を始めるとして親 地の名所意様神野大郎を始めるとして親 地の名の意味神野大郎とがあるとしまっても したこて親 地の名の表がは他のよって生む。 せらめ得る最も

り費用の如き」 を低し満洲に生われる。 を解訪するが如き 一家形成後母園を | 日まで取職の総聚に依るさ同人は一小窓正は昭徹き取職中であるが本 無理心中

段落

軍事行動一 愈建設期に入る

** X SO .

のは稀らしい。 成の割れるよう 成の割れるよう な出鱈目を平無

張、馬等奉天に向ふ

特製 豆入大褐餅 赤 飯

地京り强はお心すつ着客富よ な染ま数特値下かてるりにい ちさすじに殴るら染身ま態柄 ゼ白 で御のい御めにすつが ゼ生 居勤監・安まな・て豐

軍隊の士組を整響し民衆を籠線してご飛んでもない流電素語を放つてご飛んでもない流電素語を放つてご飛んでもない流電素語を放つて

で戦神品多額、捕虜三百餘名、共 で戦神品多額、捕虜三百餘名、共 で戦神品多額、捕虜三百餘名、共 を職して潰走、お歐

特約店 共 学 洋 行 地域に デワーハウス 電話八三〇四番 か河ロ元町 特價發賣 滿洲總發賣元設置記念のため 日本灘木原吟醸 大連市監部通 電話九四六〇番 B

酪日本正宗 芳醇佳味、如遊仙境 Sales Sales

軒品

發行所姓

中日文化協會養賣 大阪屋號書店 滿滿洲

洲 寫眞帖(最新刊) 讀 本 (最新刊)

である。 は現下の状勢より見て最も急務である。 となっての理解でも単位のように極東の理勢を知るに最良のものでめ租借地及中立地帯を色別さして一目のもさに極東の理勢を知るに最良のものでめ租借地及中立地帯を中心さして、朝鮮、化支那地方の現勢を容易に看知せしめるた為後する事は現下の状勢より見て最も急務である。

る基礎観念か

蒙 地 晶

最新 ▼時局多端これだけは是非至 訂 急備付を! 送料四金**查**侧

三 がこの地震であるに昭和三年約二萬萬、昭和三年約一五千萬でしかもその内の九割内外、までは河北省館の落花生を占めてつるる既態であるためそれ以外の敷しているの観道は一つつてこの銀道はこの後と難ら微索によってこの銀道はこの後と難ら微索とするに足られ、健和四年の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるな天、通波・の高麗野力範囲であるなど、 は流でせらめない殴りその輸送数 がなが大せらめることは至歌であるさ言へやう、花は裏影物に売い るさ言へやう、花は裏影物に売い るさ言へやう、花は裏影物に売い あさがこの外にこの地方で有 いまないないといいであるからのに 医山の北方、大道支統に八道激院 石院と畜産物とがある、石炭は大 窓な産物とがある、石炭は大 学 研物 した協構で唯 した協構で唯 した協構で唯

◇各種刄物の柄、

特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました ◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 庖丁、斧、鰥等の柄も實費にてお取換へい

萬泉及物

せしむ

の作品をこさほいだ、陸上部隊も午前九時福徳指揮電戦線の機に紫々海に際と午前八時潜艦神を施と同九時半全艦真紀元派上海十一日發了第三艦隊の艦艦〇〇銭は上海港内から吴松

粉土を代表して東天か拜し陣中からの選拜式をなした、新く て正午全艦隊一斉に廿一餐の島體砲を放ち江南の天地を監診

持つて

のか發見し、

紀元の住辰を

陣中で祝賀

上海出動のわが海軍

造に關係あるものさ

本が懐中に約二百グラムのモヒ

連行取調中、岩

日

殿童調査を続け各地人の自自に見込みをつけ右モヒの出所につ

業岩本常春へごご同じく京城府中の京城府概井町百十一焼きし

町二菓子職昭村富窓(この駆動

一味な連捕するに至る法の経緯

入連郊外黑石礁の 掛りなモ 首魁東邦雄『三を始め

しきりに昭和洋行式モヒの密造が行はれてゐるこの 居島井満義(日)加賀川六無職高橋手池田熊大八八の秘密販覧人東方同

御下賜品

傳達式

鈴木旅團で

連署の

就縛

味六名

既に三囘に 製品を賣りさばく 味逮捕までの經緯

またいか十一日数 皇后、皇 太后職陛下御下賜の取總述びに を宮殿下より御下賜の原準さけ十 日午後チチハルの鈴木彪麒に逝 では十 を宮殿下より御下賜の原準さけ

紀元節の勅語捧讃式後直に午着したので本日旅閣司令部で

B

悪で破全職に重る さいふ人も同居してゐるさのこ を確の住所は知らわが何でも束 だけで、われく、に償つてくれ たなしたが意味

Reemo大家屋の前を通りかかつた の地域金之助と標札のある福造二 の地域金之助と標札のある福造二 際は、龍に樹越と実際し、萬一を源の出て来ることに氣づいた刑事 ころ強く突くエーテルの値ひが

現行記解 十時三十分鈴木底敷長から客隊 長へ際達式か行つた さして逮捕し、

日時に大バスケットにきつらり記 場は微察官の検證をとを押収し、同式 して歌歌をあげて本器に引き場け たものである、なほ犯人一同の自 いたものである、なほ犯人一同の自 はするころによれば同工場は昨 の自

はに関り十一月一日よりモと製造にできると、概に今日までに三回に の 文法任技師を象取つてゐると 藤は と にを持動でモと製造に従事し、 松 は ここ は は で は で で きんぱ か で さん で

在満邦人の祝賀 旅順では

紀元節を迎へ

分配會した【瀋陽電話】 ケ代合唱、山崎領事の發繁で聖上 營口に於る に順における十一日紀元節の祝賀 大は駅目前の監察名後を中めず朝 来無風快喘谷町は大岡牌撒揚して を推盤般はいづれる潮艦車を施して た、下大を始め在脱谷學校では午

四千名参加して

神識の後紀元節の後紀元節の

長は建國部書を

入した『奉天電話』

等係(四九五七

豫

金

四月一日ヨリ

界各

國酒類

食

料

00

大連大山通

カカー

台河駿田神 町賀甲南

詳下保品入入 細 證 札場 照 月金名日所

二月十七、十八兩日

銀滑類五件

撫順炭礦經理課

午前十時牛

順炭礦經

に向って最敬麗を一齊に若が代を敵

され一同注目敬愛

西唱、ついで東方

東方に向って

軍隊警察官

健全所念祭

遼陽の紀元節

紀元節祝賀

三十分よりそれが、豫定の大を始め在旅客學校では午

土嚢の

か

げで

等と住民は着のみきのま、でハル ・ ないに整能と東鏡西部線は悪管系 ・ はいてハイラル方面の多数の内轄 ・ 人の安否報当はる

學則及ど入學要項、郵券二錢封入教務課宛申込アルマシ大學 部(畫·夜) 類書四月一日ヨリ

に兵匪あらはれ片端から部落を掠

無警察狀態 東鐵西部線は

方事務所長の開會の難、次いで若一の御就任感謝會終了の後公會堂に官民合同の祝賀會が確され關谷地一た朝石と、関門を「もして居上」 を執行し、院院宮、伏見宮禰殿下時から祭日耕社において紀元節祭 童及び父兄の無質式あり、同十一 十時代から際日小學校において見 一時まで市民一般の理賀式あり、 修口における紀元節系統行

心ばかりの祝盃

上海前線の我陸戦隊

品を賣り献金

内容一明したる寫真帖あり、學則請求者に送早す

(下)は設備整へる工場内 日の住き日の設職さらて先づ爆電したが、前続は全朝は搏り候や場として先づ爆電が上海と離の心臓を寒からとめた、前続は全朝は搏り候や爆ながみないと対象には後が兵站部から悪ばれた形版には後が兵站部から悪ばれた形版には大きは土脈のかげに交代で心ばない。 時生から頻繁な開始と朝霧晴れて『上海十一日数』我空軍は午前八 に射ち放ちその場に軽騰さらめ夏」レス氏は過度を高地に滞在、映画さしたので、すかさず一蹶を腹部。せる英國の大衆作家エドーガーフ斧。振りかざしてなごりか、らん アー十日登 全世界の人績を獲达拳銃か振へ起き出たさころ賊は手』【ビブリーヒルス『カリフォルニ拳銃か振へ起き出たさころ賊は手』【ビブリーヒルス『カリフォルニ 鮮人强盜

殺さる

整徳は紀元節の金部を下し野工品 な販賞して我航空軍の充貨に献金

我空軍充實に

ヒ密造の家

元節に相應とい感激能シーンが展 等天皇陛下萬感を三唱と呼中の紀 等天皇陛下萬感を三唱と呼中の紀 節に相應しい敷液的シー 紀元節祝賀

しき戦死者の

政策政治の繁はその機構に養す

○募集人員 二部共命學商業を計約十名
○試職 職 三月十八日
○試職 職 三月十八日
○試職 職 三月十八日
○試職 場所 本所
○規則書募集要斗必要の向は貳銭切手封入本
所宛申込まるべし

三月十二日、廿三日三月十八日、廿三日十八日、田等代平學商業卒〕計約十名

大連靜浦同見晴臺同初音町其他

尿病の

図目域所」 内部 でお申込の方に関称専門のとの新聞名形戦へが手でお申込の方に関称専門の指導がなく論苦階の方を真に遂呼のための方に関称専門のとの新聞名形戦へが手でお申込の方に関称専門のという。

坂) 自 療 労無代選呈致します

カタル

代金即時排叉は七年まで年月賦排へ、土地一周劃百坪內外一坪十五風內外より一、至境開神風景佳何れら電車沿線

管み申候に付御参會相成度候 性會を十二日午後四時西本願寺に於て相 故前大藏大臣井上準之助氏の追

大連郊外土地會社會望不三

上海の陸軍部

"ピブリ

職は政策政治を撃むるや否やさて問題さなつた、さ云ふのは常

◆ 評細語令ノコト ◆ 証線対目 関文・英語・ロ語試問 ◆ 試験対目 関文・英語・ロ語試問 ◆ 試験対日 四月三日 日曜) ◆ 試験期日 四月三日 日曜)

同志が大いに力癌を入れて

日本上

云ふにある

英國大衆作家

では、られてるる、戦闘では一文會公認として出場するだらう 友會公認として出場するだらう 対像がに至って政

◆募集 第二大學豫科

しむるものは稀である。簡單な方法で迅速に鎮痛の快感を得せたゞ皮膚に擦り込めばよく、これほご

神經痛·関節炎

外用薬・プロメチール

大學雜科 (1年制) (翻)

る事さなった

骸長崎につく 戦傷者百九十七名と共に きのふ「間宮」にて

愛國學生が

武裝行進

間保がない旨を覧明とた。 一であるものであるさしたら――民族 を除名し腹と総上は個人的に立つてある満洲常 が大勢を支配して就立り面にして全 を除名し腹と総上は個人的にや でなるもので概念された。 でなるもので、概念された。 でなるるもので、概念された。 でなるるもので、概念された。 でなるるもので、概念された。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でない。 でなる。 でない。 でなる。 でない。 でない。

『東京十一日教』紀元節の俳優を 「東京十一日教』紀元節の俳優を 東京十一日教』紀元節の俳優を 北た一方歌画學生聴唱有志一萬人 北た一方歌画學生聴唱有志一萬人

川美子孃が來連 本社主催で華々しく獨唱の夕 きた。 を変あする、八日の剛を協和会 に、原本が後辺の下に軽々しく微唱。 ・本社 ではこの世界館ソファーターの一名歌手を迎へて意繁愛好家ファールでは、これの一名歌音を記した。 『滿洲號』に收入献 を更に意義あらしめるため 歴では、 の郷徐にそふさ共にこの 歌唱會 き歌姫と 來遊な行意義に の滿洲號建造 形美子嬢も減満洲 ル美子嬢も減満洲 でそれめ解 でするため解 でするかがあ 藥効特痛顕熱解 く効くよ番ーにうゝづ・つれ・ぜか

機とのた「鶏真は振

総して同家に使入し家族に引渡した にて同家に使入し家族一名を練し 金三百圓を職物せしことが明し身 を出ての家族に引渡した。 に教教な連射と欧州せらめた。 はい場所法領事、小様書部生衆 に教教な連射と欧州せらめた。 はい場所法領事、小様書部生衆 は、また率天總領事 で、また率天總領事。

聖山關東方の連山關東方の

四洮線で

貨車頭覆 地盤の弛みか

型して大砂とた、原因はさきに事 車が金山縣な数と三型の地點に差 をかいるや該貨物が車十級院線 があるや該貨物が車十級院線 がある。 は十二日午後五時頃になる見込みから生じたものご聴らる、師後聽 がのあった個所なので地盤の強み

8

本各地名産.

珍

布養中 安度は引立を常り

素素豆豆 り素素豆豆 極りの付味 * 上苔海きや場

臺三家子の

は、新大佐の指揮する歩兵線二ケ中 脚本を執筆中職災に織り本目死廷 が、恋のため八山行動を提し飛行隊の が、恋のため八山行動を提し飛行隊の が、恋のため八山行動を提し飛行隊の を楽者は「養物とた大連啓察高等 は、新氏西北が二十四半中の※三 ・ 一部と協力とて十一日機鳴より疫 ・ 主任寺尾肚音氏の送別宴は司法記 ・ 一部と協力とて十一日機鳴より疫 ・ 主任寺尾肚音氏の送別宴は司法記 ・ 本任寺尾肚音氏の送別宴は司法記 ・ 本任寺尾上音にある。 出前这里作名中是一品 十五钱的一五人様以上

匪賊を掃蕩

中島大佐指揮の歩兵隊

清月月 を後七四の七あ 東京風菓子謹製 が甘座が西が

啡嗎片阿 二二町無大市連大番一三五八話電

痔性內

_

メデチーネル

一 切 新 親

光外 線

福岡支社

廣島、幟町ニ三ノー

当加奈陀ラグ 6 ゆ

ゆる印刷 ※文房具 井印刷所

廣島 京都支社 大阪支社

大阪、東區高麗橋三ノ二〇

業務大擴張有給外務社員募集

社 東京丸ノ内有架町

常務取締役 事務取締役 長 伯 假 菅金柳 田光原

人正生命保險株式會社

仙器、大町三ノゴ六○ 名古屋、中區新柳町住友ピル 札幌、大通西五ノー

京城支部

東北支社

京都、四條通常小路角 履歴書送付ありたし

山頂で 造

(可認物便郵種三第)

斬新なる保険の提供

である『奉天電話』 の厚臓を誘伐と午後五時過ぎ帰還 した、我に大した揺ぎなく敵に揺 である『奉天電話』 卅二對五で 日本軍勝つ

確定配當金附、生存分配金附、加入者本位。趣味と實益の兩立。

祝壽養老金附(一名三倍保險)

の時局を輸期さらて漸次伸びて を業者は現在の處では同地駐屯 事が館州めがけてなだれこみ盛い 者が館州めがけてなだれこみ盛い 者が館州のがけてなだれこみ盛い 者が館州のがけてなだれこみ盛い を業者は現在の處では同地駐屯 事が相手であるから果らて期待 運が相手であるから果らて期待 であるから果らて期待 であるから果らて期待

長着赴任

る純翁金を以て各地にある戦死者

ある

岡部上等兵の

嚴かなる軍隊葬

新舊大石橋署

を実験二百七十名な急派し交換した 大兵隊二百七十名な急派し交換した が兵隊二百七十名な急派し交換した。 た其他の既況不明である

大 の 東 と 東 変 女 是 校 配 で に ある を 演 を し で と 要 で に ある を 演 を し で と 要 で に か る 事 実 が と 見 版 こ 要 と で で き か で き 血 郷 を ル で こ か で き 血 郷 を ル で こ か で き し か で き 血 郷 を ル で こ か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で き し か で と し か で と し か で き し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し か で と し

像定で場所について極力選定中で 体中にて本月二十日頃より階校の を照天に誤話する事さなり目下郷 を解天に誤話する事さなり目下郷 の登成を期待し同校分校

自動車學校

野野、大田を開発を使いた。 の報告に依れば、 の報告に依れば、 の報告に依れば、 の報告に依れば、

官兵ご聞

女生徒の純情

一隻鷄一味

滿洲號寄附金募集ご 軍警慰問映畵會

分會長、古地居住民代表考等の形態でなるものあり職く者等もく感味のなるものあり職く者等もく感 各地有志、當地官民有志及び

如き軍隊葬の中にも亡き戦友を

會議室に於て開催に決定し過数の かち常低較事會心關さ地委懇談會 際艦の他につき協議をならたが結び に対しては九日午後一時 會十二日開催 地委常任幹事



(日曜金)

H

大石橋で開催大盛況

熊岳城倶樂部で執行

一中監察に入院加索中であった際 一手を選集(全回版)

国警派をなしつ、ある ・電響派をなしつ、ある を警戒

大虎山驛長に 軍部から感謝狀 滿鐵社員には始めて

は、打通内線の年歌間大虎山野に於て 電脈関の作戦間大虎山野に於て を山、打通内線の軍事輸送業務 を現る貧齢ありたるな確認 に多大なる貧齢ありたるな確認 に多大なる貧齢ありたるな確認 組合定時總會 全滿米穀同業

警察署員異動

を警察官極全心騒然を執行したが一を警察官極全心騒然を執行場では十一日午前十一時か

鞍

日定時機會や開催するが今年は創 テルに然て在紫客名土を指法し散終了後午後五時より繋天ヤマトホ 立五年に相當するので同日は總會

東三省官銀號 貸付整理

東三餐館観響では事態以来に載した 城子屬方館を襲祭し九日午後半職一局八九兩日に耳り非職店、魏子高 大谷司令官視察

柳町が酸の適雷の一

时整粉局長 九日 往來

元ををををはいて、一大をををはいる。 「きっちゅ あの夜洋館に恐びこんだ本

「廃敷中のものではないのよ。」

▲文藝俱樂部○

下、較山市場會紅一月中の取扱小高及 (2) 於出入朱左郎の妲心 鮮 魚 五、七三七個六三線 鹽 乾 魚 五、七三七個六三線 鹽 乾 魚 一、六三、100個六九線 壁 泉 一、六〇〇個六九線 大連六割八分、釜山一 移入先 大連六割八分、釜山一 移入先 大連六割八分、釜山一 移入先 大連六割八分、釜山一 市場會社成績 が 身臓のな感じながら云つた。 はその喧騒が削まるのをまつて、は 地見が荒まじい鳴き髪を立てゝ、は 地見が荒まじい鳴き髪を立てゝ、は のはが論者木さんではないわっさ だへた。こんさした よらぎはその先

まもざの機はもんごり打ちながら さよもざが其の言葉を縁返した 「験太郎が…… 二类 る冷蔵倉の穴の中に真逆



時局寫眞展覽會

遺族の船間金に宛てたる中で緩緩 器に野しては地域の5、船間版を金一 族に野し、風情感の5、船間版を金一 がた野つたので本署では其真心な

(四)

めざまい

供した(高真は映画大會の盛況)

梅月旅館全燒

大石橋の

錦州の新興振り

治安は軍部の努力で維持さる

褒賞授與式 棉圃品評會

山地には依然匪賊が蟠居

奉天輸入組合書記失部が、葫蘆島方面が視察

した立派な港さなつて來るであ

『廉順』 ※3十三日午前十時關東州院門の新門会議を表示を表十三日午前十時關東州院門の新門は左の如こる開会辦本審査報告本審宣授與式を繋行する事こなの辞書本会と、「「「「「「「「「「」」」」を表示を表示した。「「」」を表示を表示といる。「「」」を表示を表示といる。「「」」を表示を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示という。「」」を表示といる。「「」」を表示といる。「「」」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示しる。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示という。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しまっ。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。」を表示しる。「」を表示しる。「」を表示しる。」を表。「」を表。「」を表。」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ、「」を、まっ

電話でた記答支局の指盤の下に開催する身になりまむた、夢動を変した記答支局の指盤の下に開催する身になりまむた、要単を機まて興威生活の判況、上海隆戦隊の活動等を本社特別を基準を機まて興威生活の判況、上海隆戦隊の活動等を本社特別を表する。 長春警察

大学 (1975年) の後を襲ふて高等

響部の後低さ

山うばの假館はしかし返事をも

はつて、棒子なすとめて答へを待つ はから秘密を聞き出す時が楽たさ思

疑はしき人(四)

河

野想多

鐘

(194)

右毎日午前十時より午後四時まで除會 滿洲日報各支局

接次時から金龍亭に日支各方面を接窓する出 錦州兵站支部 楠田繁砂地低は三

家天指導部長子冲滅氏は十二

于冲漢氏招宴

安和衛生主任の後年

た奏とつ、あるが如きも共前途 たるや顔る邃遠なり使つて吾等 中隊一局協力一致愈々至誠奉公 の實た舉げ以て君の死に酬ゆる さころれ晋ふ在天の英護原せよ 電和七年二月十日 電立守備歩兵第三大隊第一 中隊長陸軍歩兵大尉従六位 動六等 蘭店

書歌院教化職監に然ては二月十一 旧左の庭と戦闘祭を繋符した 場所 小學校講堂 場所 小學校講堂 時日 十一日午後六時三十分 時日 十二日十一 建國祭を舉行 色ハルビンに同支部を新設する場所の兵站支部は十一日酸り に髪帯響した井上野の

見た。が、すぐ安心とたやうに眼だっしうばの假館はそれをあやら 二

一、電語講座『テキスト』第二十九 「テキスト御人用の御方へは差 でテキスト御人用の御方へは差

8881

9198

9419

9804

9966

8736

E

番號は各組全部へ共通でざざいます。
在執行、右の通り當籤いたしました。この當籤
抽籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於

五等

函に同封進呈濟みしお買上と同時に一個

初年看護兵 で長春警察器からので、また

遊騰能成物院附さなる独年看護兵 七十一名は観山宇能隊において数 大中のさころ十日午前九時五十分中 で 無事着遼 領事の招宴 中川警部の祭戦組は中川警部の祭戦組は 家族同性的 が事課が を が事課が がある。 大連 關東廳

本のでは、 を でで、 を で、 を で 、 を で、 を 、 で 、 を で 、 を で 、 を で 、 を で 、

はた紫田繁部・藤田繁部神新に佐さる館とた中原繁部神三氏を主教に長せる館とた中原繁部神三氏を主教に長せる館とた中原繁部神の大山平後六時間がいる。 から館邸に掘き暖祭會を催した す 速陽領事館山崎副領事は今回男返 見る雑なを極め三氏は各方面の見送り人 資山事性を続め満洲後が軍で赴低の途に する萬歳の野は構 もゆるがんば 事變の功勢者

岫巖万面馬城

低することことで 車で赴低したがその 水道係主任更迭 事務所より三ケ尻廣氏が楽にしたがその後低には軍房 てなもぎはやうく安心して

院を訪問機病兵に軍用靴下百足を継矢會長其の他幹部四名が能残極無常民食婦人食では去る七日途陽居智氏食

を病院日

健全祈願祭

浄陽神社で

「では話すわ。」を更に整をひそ のですが、二人とも 立ち去った後だったの。 まつたの。その後で駒太郎が

のですが、二人さも直外に出てしる験別の部屋に選入つて行つたお宴さんが殴つて來たし、あなた その後に 西西二二九份市

淡雪のやらに

色的く、きよらかに、

サラツとお肌に消える雪印クリー

無脂肪のウテナ智野グリーム(卅銭、六十銭、一個)お素顔に、瀬代粧に、おヒゲ鯛り後に、日常の実館用

三、なほ、ウテナ化粧料要用を意味のため、近く確ら、大紫質を発表いたします。それには、また素晴しい質品が養山つきますから、どうたします。それには、また素晴しい質品が養山つきますから、ど

二、唇品別様は昭和七年三月卅一日限り、以後は無效でございます。

条宛が送り下さい。 引換に営業長品をお送り申上げます。 営 気の方は神鍼参を東 天市。 処異本郷二丁ドウテナ化粧本本舗・1

四、歌劇(大阪より)「参駿」小野晴 通作資塚少女歌劇」組生徒、伴 奏名組オーケストラ音樂出海高 木和夫 木和夫



放送

連 十二十一十後六時十 JQAK

2683

3599

3797

3829

4168

6136

6497

るよいこさな――小悪蟹の扮裝を ち、また一方では此の山うばの野 ち、また一方では此の山うばの野 った。よもぎがあけみのかへ玉にさた知つてゐるのではないがと難 即を犯人ださ云つてゐるのではあなつてゐるさ知つて、わざさ職太 して駒太郎が父ん殺したさ云ふ

ないのよ。」
「では、胸太郎……」
「では、胸太郎……」
「では、胸太郎……」 大阪市南區上本町二丁目滑稽新州〇三月號) 定債二十億人 東京同右博文館銀行)十億人東京同右博文館銀行)

69 2 9645

等 4251 ダ 1 ヤ入白金指環 (各組共通以下同)

本縮軍の

東城 なくない 支里の構山家子

張海鵬軍は九日法庫門西方約三十 数据しその中四十五名を射機由家子に然て終七百名の

張軍匪賊討伐

ける真偽者中重領者な機架で単窓から輩もす

敞野砲陣地を攻撃中 機野砲相呼應

たので野破隊は○○隊長指揮の 方面に敵の耐兵庫地敷ケ所な餐見 より又もや江瀬停車場及び管興路

敵砲兵陣地

數ヶ所發見

酸の野極は乾燥れて邦人居住區域の北四川路秋忠威路千変里内に數個な深度。動は候により午後四時から攻撃を開展しまがオ部カーカビュリー 日四時開始 戦闘機出動するや忽ち鳴かし

に陳取り居るた發見、之と爆撃

大時計塔は見事に粉碎された

高橋船長射殺事

電池であるさなしてゐるのは注目 を整彩の光気酸繁決をみるまで平 る製彩の光気酸繁決をみるまで平 の目的で繋が続い上海体形近 の目ので繋が続い上海体が近 の目ので繋があるまで平 の目ので繋があるまで平

部十二日の雑様常日は親使を御寿 叙従二位以特旨位一級被進 正三位動一等 井上連之助

スパイでなければ加入させて 「一人でも會覧は多いだがい、。

兎に角一應機査して見よ

「ダンスホールで塗った馬が、是かうほのある志域さいふ會員が かうほのある志域さいふいます。

これば全く意外のことであった

遭あらせらる棒様である。

住家破壊された
「上澤十日餐」十日午後七時将離に報じ三義里の〇〇〇階に黙し機關総及び避職機で夜襲して来た〇〇〇隊は之れを「上澤十日餐」十日午後七時将離に報じ三義里の〇〇〇階に黙し機關総及び避職機で夜襲して来た〇〇〇隊は之れを

我軍應戰

海の中立地設定ご別問

米の態度注目さる

無無ないる。

中川氏講演會

ら天然痘患者 上海避難者か

の相手の男な調

かう云つて武村はその男を、暗かり云つて武村はその男を、暗

零時過ぎ頃敵 を沈默さす

んで野時の虚我軍は俗自重

人クラブに既に落下一も、折椒即會中の時局委員會室の

於る

軍縮促進には

變らざる熱意を

制限と

も不同意を一である。網索の再提一子は事態

の用意



提議に賛成す

精神的の軍縮案を提議せん

兵員は 安全が 害せられざる事か

陞叙の御沙汰

傍鵬席からの批手其他の鞍壁をた 軍総會議の議長ヘンダーソン、

と變ら して居

科學的戰爭廢止の用意あり

伊全權の演説要旨

大成功で大成功で

次で我松平全權 は漸端形式 我松平全權演説

- 氏、登戦し

握手攻め

下 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 () 和 (

しなめる、ごんな姿勢か知らないしない。 性の演説要旨



果する者が子。 力を変は感心したらしい) さう思って彼は雀踊りさへした。 食長窓な出た説材は、膨下な一 壁も床もだべしいコンクリー物置といふより牢獄であつた。

「今人食式がありましてな、新して来ました。」と……その一人は 変形と知ってゐる人です。塗つたは 変形と知ってゐる人です。塗つた ら感がびつくりするでせうよ。… ら感がびつくりするでせうよ。… らで下すった時節に離氏さ、微都 して下すった時節に離氏さ、微都 して下すった時節に離氏さ、微都 で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お で、置即じ遊憩會鼠なのです。お てるなかった。一つ思う ふやうに南部を眺めた。 かう云ひ乍ら武村後三は、朝祭 三は、嘲笑

心に耳れ傾け盛會であったから滿皺社員倶楽部で思想问題に開る講演をならたが聽衆何れも熱 一類、重要物産見本、交通調査物、こ出品物は地圖、緯薬者、ポスタこ出品物は地圖、緯薬者、ポスタ 変更致しましたが歴学のバー 本紙は本日夕刊から歴学を 満家の維新を整数したもの ックさして配した模様は旭 題字を更改 一は、部屋さいふより物置であり、 一十燭の電燈のこもつてゐる部屋

洲現地 民の都市國家へ「放射路街」建設運動へ馳國青年等の協働協立を志す地上の樂土農 東自由國、 せ集る青年男女の群々!! ×× の之に對する極度の昂奮!! 而して滿ーゼを得た!! 見よ!!支那の掛日運動を!! 於ける兩民族の骨肉に優る友愛 中東共和國、それに全滿兩

1,

さ迷へる日満、兩民族の輝かしき指導者モ

ø)

されゆく支那政權の蝕態を見より 圍んで、何事を訴へたか。積惡のバ 嗷訴」に集合した三千の大衆は、

廿有餘年間此の地方の開拓に 努力して來 ら新奇な機構が生れないで、 た日本青年男女ハ業績で目標でを見よ!! こゝは見るもの眞新しい が出てくる? 曠原だ、こゝ

る腰原佑長の告別式、下は十日午前七時四十分着東支列車で到着したハルピン(寫眞上は十日午前十時長春駐剳第○○隊將後集會所内における双城堡の戦死 支那の 列國も呆れる 不誠意 Δ

別國にすがり只管係職幹総と願ひ はご不誠意極まる回答なるたいはれな 『上海十一日餐』 首席領事カンニ 大大は野し臭寒城は昨日間で租界上空の軍 地に野し臭寒城は昨日間で租界上空の軍 できたでも空上艦は立那の主権内に できても空上艦は立那の主権内に

側の不誠意にあきれて居る 特に婦人子供の参加を歓迎するの大會を舉行することとなったが時より同リンクに於て令シーズン 氷上大會 は十一日午後一ケートリンクで

藤 史

社 かで、今にも続れて了びさうな大 のて、今にも続れて了びさうな大 ので、今にも続れて了びさうな大 だってあった。 「巨磐楽」と楽碗画で話し合って あたのは、彩位棚のこでに修なら ないのであった。 とかし英雄歌館の、肚快で急落されば南部正雄であった。 その正廊に部屋があつた。 武村はドアを開けて中へ這人つ

さうして彼の右さだに、拳銭を彼は椅子に腰かけてゐた。

カン人に訊け。 カン人に訊け。 本にで語らしめよ!! をして語らしめよ!! をして話らしめよ!! 聽 H

軍用機の租界通過ご 吳市長の不遜な回答 の謎は Ξ

Δ

長編

振琴東京六七四三壹省東京市日本橋區江戸橋 建

ンを捲き起した「國境」!!

一大センセ

發賣 默認的 多以良書房

說寫

中大示威行進の八雲陸戰隊

(上)忠靈塔前廣場で擧行された

英姿を

市本年一月中師大連書中送院吉剛派 であり、必然確に整通してある」と云ふ言葉や耳にも 輪中である」との歌事様有の六般をピンと刺繋され 蔵に千葉中送生は、なの歌事様有の六般をピンと刺繋され 蔵に千葉中送生は、など、事が某所にて偶然「アカ、アオ流 であり、又遠観診察であり、又遠観診察をしている。

あり、又遠観路造術六意園が密

七十六百

(可謂物便奪穩三應)

=

概念された、定数年 代上のラッパ 機能が

吹奏神に

に國旗振揚式

職院宮殿下参謀總長御就任、伏見宮殿下海軍軍全部長御 れた、朝來務光經へ徹風だになく、經済の総裁日和、大 れた、朝來務光經へ徹風だになく、經済の総裁日和、大 、職中系載の基軍の附立と滿蒙新國於經路を整へて意 職院宮殿下参謀總長御就任、伏見宮殿下海軍軍全部長御

粉土と滿蒙新國家遊野を整へて意教深き中央公園高麗塔前に於て縣行さ就低、伏見宮殿下海軍軍令部長御就低に對する市民經濟大會は既報の通

紀元二五九二年二月十一日の住

忠靈塔前[威激

住き日を壽か

昌ん豪ぐ大連市民の紀元節が脱式遊に大連市

に大連市及び帝國在燕軍人會大連職合分會共同設備の大線戦を管場し、傑せてわが民族の發展と國運

の喇叭吹奏裡に國旗降下式を行び下萬歳を三唱し終りに「君が代」

いいから

兩殿下御就任

巾民感謝大會

孙

大皇陛下の萬歳を三唱

竹内民政署は

皇居を拜

大和民族のみが知る貴き國民的感謝の波に登込まれた

も意義深き殿宮殿下御就住に感謝する市和、大名の機威さ皇軍の武殿に滿洲野の

市長、内田消穀總裁、大森同理場には早くも竹内民政署長、小

市民資々押し寄せその財約二萬、

な一同注目就經と樂隊作奏で「君」

小地市長は戦院宮、伏見宮兩殿者一同「弄が代」を今唱し次い

大示威行進

明石、魔島より遠くは札幌まで飛ぎ全國に買り総合た一味全部を逮捕して凱歌を舉げたが枯事性は最後の努力を擦つた結果、十一日午前二時過ぎに

は大連を始め須磨

十一日未明にかけ秋事係を總轄覧して國邊樂銀行の紙幣修造事件に關し大連

例洲から北海道を股にかけた

入掛な紙幣偽造事件

十六萬國を歐選、滿洲に響輸入行使せんさらた國際り遠くは札幌まで強ご全國に買り総銀紙繁三萬餘國

八雲陸戦隊も参加して

國事犯能大犯罪である

總參謀格

春日町の國松方で屢々謀議

大犯罪檢擧の端緒

連全市民を擧げ

日は壁画の音を

融殿は早朝から神々しく装飾さ この日 覧所、皇艦殿 野所、皇耀殿

慢渥な勅語を賜 を開き 神饌物がの供し、九條家を開き神饌物がの御束帶茶神々しく、御手に変かさらせ締ひ、続父、御手に変かさらせ締ひ、続父、御手に変かさらせ締ひ、続父、高松麻宮殿下を始めを最族がな高松麻宮殿下を始めを最族がないませられ、鈴木侍徳長、奈か郎とはまない。

の諸真並に伯子男の一部、白國 で皇后陛下の御拜禮あり、引つ殿かに御告文を奏し奉り、つい なデ人御、髪が離戦も採慮し き各島族がの御邦職があって 皇后陛下の御拜職が 晴れの御宴が催され、 御拜禮、いさ

に表者並諸大臣等ト に表者並諸大臣等ト

建國祭

な宮中御祭典

| 歴下には内掌典の家仕

武能長等供養

豊明殿に内外の百官を召され

能機は難しな代表し、は國大使を動語を勝ふ、これに難し大変 パツソンピエー 交際ノ益々親密ナ

一ル氏は外属使臣

上海方館における海軍將士の力戦に之れた理へた

る「決死隊の職」能に血病き肉な前に参加、多種の後、思想思比な 詐欺罪で告訴

際は武奘馬ましく歩式堂々さ式場 整神に閉式したが、この間八雲陸 歌神に閉式したが、この間八雲陸 歌神に閉式したが、この間八雲陸

常城諸城公警塚本山太郎氏は大連衛城諸城公警塚本山太郎氏は大連市歌師通二〇番 は田中東だ弥禄元

首相奉答文

破職神に玉座に着かせ絵ひ、

11、19によって、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、19により、1 を発頭に午前 は満都の寄年風 下の萬歳を三週 【東京十一日發】今日の迎國祭に

で代表し難んで和答文を 院に救答された『長春電話』 一十九分養卵車で接続に後送されて 来たが、うち輕似者二十四名は同 では談、重像者六名は長春酸成病院 に移送、重像者六名は長春酸成病院

ハルビン附近の眼間において音像

吉岡刑事の

長春に到着

負傷兵

十一時三十分宮城前 市長の普遍で隔壁 生献十萬は音樂隊 山本少佐総率の臨時野戦歌破除へが一瞬日中に奉天へ向ふ客『長むののふる》は十一日では長春養華用列車で輸還したが一瞬日中に奉天へ向ふ客『長 長春引揚げ 野戦重砲隊も

の飛行隊歸還 ビン出動

電話』

は転天の原地に輸還した、なほ地日午後長春に飛掛げたがうち○臺は十 上航務兵〇〇〇名及び飛行隊自動車)をして、なほ地 カすると同時に陽遊紙幣の役方についてし、職能観行紙幣二萬五千個は軽響の城と出来が熟く密輸後漁却し、又城と出来が熟く密輸後漁却し、又城に出来上のてもたが、衛一味中運送銀報六萬個は資金調整のための原理に赴き既に出来上つてるた偽遊場と、近く出来上でで、一味中運送銀報六萬個と、近く出来上のであるためのである。

大 百幾百年の、田場千里城で有名な、中島道線先生は、大 百幾百年の、田場千里城で有名な、中島道線先生は、窓下る。其倫山も、其田城も、19 2000年中一駅の夏城を翻載した。低途り根場を 東日城も、19 2000年中一駅の夏城を翻載

の頭痛にノ

ーシン〇

械であつたさ云はれてゐる 安奉線吳家屯 附近部落火災 匪賊襲撃し掠奪

相場市

北方三里の地版にあるを歌が中で北方三里の地版にあるをかい歌が変数撃掠撃破代中なるもの、大変型り炎々さして地域え上つてをり、統警艦にして開始え上つてをり、統警艦にして開始え上つてをり、統督を取りを対して

九九

○本月豫約證據金 三千貞當 六〇錢 三千貞當 六〇錢

近の大地辷り 龜の瀬隧道附

(©/2 F

うして他日本本語を河東の公本本語を何中見本さいでも宜しい。 「他日本ではことでは、「一部全台とでは、「一部全台とでは、「一部全台という。」

技師調査の結果によれば一日平均 ・ンネルを中心に大地ごりの速度 トンネルを中心に大地ごりの速度

債券專業

松尾盛男商店

今日の煩悶は明日の喜悦 一、出**所進退の指導判斷** 一、相場判斷 一、職業の適否判斷

田徳茂(*型) 主談議中であったので 直に連伸し、御選十国院を設禁品 さして頼戦するさ同時に運尾の情 たにして頼戦政産艦の一味たりし たにして頼戦政産艦の一味たりし であると同時に運尾の情 東岸ツルは漫衆銀行修造十個然を 東岸ツルは漫衆銀行修造十個然を 東に屋内に飛び込むさ、あたかも 東に屋内に飛び込むさ、あたかも を甕裝して六日午後七時完全に國低以下認問係刑事へ總動員し、各 大連署 では手楽引送主

を は、 がきで申込大第 を に が で 中込大第 で 京 東鴨 川 二 ノ 三 こ 日 本 敬言 致

特診

學 會

屋ツルであるここを自由した 造密輸幣の一味なることがに満洲 を に続ける機参謀権は女ながらも 新書 とびに 満洲 動がでは大和心に政策に動いてる 中マへ九十センチ、都奈良部道お りんかけの地野からは東々南へ八十センチのれも移動とつ、あり移

るものさ見込

吹を逮捕 ツルらの自白で芋蔓式に

して戦戦五風%二萬 市住ノ江空戦学三版("m)か又戦場中二月十二日札戦に (*心)同南三條島田芳十郎("m)延に 戦闘をアル外三名の自 著では同市戦や町印刷業内野愛吉 は 100mm では、100mm では、100mm

西の風晴一時雲 天 天皇韓國

電氣技術者檢定 場時期科令人

ロジスト

伯龍子臨時鑑定所執

地各所でも

職智所に於て施行するに決定した職者の職日その第一次試験と連信し なつたが本年も四月五日(第三種) から大連に於ても施行される事に電氣主任技術者檢定試験に昨年度

壬田

ふぐ料理の本場は 毎に別狀なし安心して 馬関阿彌陀寺町 の保險附なれば の保險附なれば お前はお電話大第飛行式 特別はお電話大第飛行式 日前にお電話大第飛行式 御宴會は特に御相談に應じます ふぐ料理 一品料理 东在 監 16 番五五八一二話電

田所進退の指導判斷 一、終身運命の鑑定相場判斷 一、配偶者の撰擇指導職業の適否判斷 一、家庭問題の指導職業の適否判斷 一、家庭問題の指導 有紛失ノ宣居出アリタルニョリ向 中立ナキトキハ之チ無効トス 昭和七年二月十日 昭和七年二月十日 勉强

、大連取引所終鈔信託株式会社 株等 三九○、三九一、三九二 番等 三九○、三九一、三九二 三九三、三九四、三九二 一七一八

大連朝日町朝日『場信留所南大連朝日町朝日』場信留所南大連朝日町朝日』場信留所南大連朝日町朝日』場信留所南大連朝日町朝日』場信留所南

大塚は十一日午前二時三十分頃それので大島は十日午前二時頃によって大島は十日午後十二時頃にたので大島は十日午後十二時頃 び愛宕ヨニハプローカ 味に 聖德街五丁目四 渝皆 悅樣 郷の

央

林長次郎高田浩吉主演・飯塚敏子 浦波須磨子柳さ く子大競艶

北村小松原作響の輕妙瀟洒な優茂亞篇・熟めの事や記憶を整備を経済でいます。 スト彌次喜多兩人 支方 1 落

チャッカッしてるわる。新田静枝花岡菊子新井淳清水將夫大山健二小林十九二 共演 おなじみの 日新しいサンドキッチ迅速に配 紅 ベビーシュクリー 體八二五一 申ム検を

大正十一年二月也心節引刊 治は、それぐ法友を求む 真繼雲山 燈法の衝昏

本佛教新聞滿洲支社

大連市西公園町トキワ橋

三十日間一錢二厘四十日間一錢二厘

皮膚科。 痔疾專門 泌尿器科。 內科 内

電路大五人番院

博多屋本店質部

が、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振りが、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振りが、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振りが、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振り が、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振り が、東京にはシネマ原腔が多い 大藝術家のやうた音を窓じ、振り

動し、つかつかと無磁の中央に戦ないのかったのであった。彼氏、何と思ったかった。彼氏、何と思ったかった。

を揚天ぷら

の「さめ、妾しや然ぐんだから、異なけき振つて高笑い。

前架長が昨日死去とた、けふ郷式一前架長が昨日死去とた。けふ郷式

歌過ぎる程丁郷な日振! 近しさうにもちくし

E

談漫

7

馬鹿

ーのやうに意識をもつて眺められ それが人無、不人無のパロメータ のであつた。 詣り館 治郷には直接

を確に向って樂天孤禄のニッコリ を確に向って樂天孤禄のニッコリ で)こんな御迷惑をかけるんだへ

「それちや御主人、御目にかけま

二十銭にたいた▲さてこれが果か、この邊に関行の書ひ知れ口妙か、この邊に関行の書ひ知れ口妙がある▲「難園を優れ」は遠藤

食8599請

大連市西広場岩代町入七軒目

▲けふからは「インガキ」を上映 もある▲すつかりスランプに図っ た帝國館は「白い罐」まで辛抱が た帝國館は「白い罐」まで辛抱が た帝國館は「白い罐」まで辛抱が

央館

200

寳石類

「では、きつさでございますれ」

H

日活現代戦部では今回の事變に於

は老玩変三郎さ組んで大楽に前後 である、大衆感識さして殊に前後 ってある、大衆感識さして殊に前後 なるお土命はりにでもこの範疇は にお芝居がかつてゐることがほりにでもこの範疇は である、大衆感識さして殊に前後 にお芝居がかつてゐることがほりにでもこの範疇は ではっては理解交融を ではっては一般である。

今日の映畵代の出鉄

0

活

室

信定・装包 修士関一 五〇〇三大 貸十五 五〇〇一小

大阪市東區京大阪市東區京

深榮明顯立第一回書演

ン時識さして管然のセットの質量

御禮の大

食道

入院題亦

科兒小

院醫原相

映線館の「市街

日活俳優來連

佐々木監督以下

中では。 ・、火事場のやうな勝ぎ壁、暫 と、火事場のやうな勝ぎ壁、暫 と、火事場のやうな勝ぎ壁、暫

で、私人の形をちつさ見ながら、 で、私人の形を扱った平誠には棚手にならないで、私人の形をちつさ見ながら、 地域には棚手にならない ので、一寸髪つたものなのですけ の金を二世、慄える手で番頭に避れている。 御主人この番頭さんに渡しな」 主人が全縦の中から、百種切み

博村津・子慶洋高 トスヤキ・ルーオ 版名豪大特超の春

日封切

ず寧ろ爽快の内に治癒す。

一三回の交換にて足り普通

獎推御生先兩 保久大 士博學醫

國統

ご想納枕中軒雲右衛門 公嗣版仇三味線 に布濕いし正

開公でに銭十二階

映寫時間

午後八時中

濕布 劑

(可認物便郵種三第)

京洛の本へこ
京洛の表へこ
一京洛の郡と歌はれた京洛の郡と、歌歌が次、昨日は五條の通りで就
一変上が帰り数されてあるかと思
・ 一点・ 一は三條地原で歌声の首。

上に観客か引きすり

銀座セレナーデ

めたの禮卿入大選前

亡新撰組

大河內傳次郎主演

ロアメ男

+

日公開●

公時間きからくり

十一日よりの番組

流 感 炎

用を附與せしめたる用法至便の液狀場 全に補ひ更に殺菌、皮膚炎療防等の作 本倒は「從来の瀑布療法の欠點」を完 ソールの温布に優るものなし。 布劑にして特に胸部疾患に對してはキ

の手當に

X-03

安價と美

の視察團

軍人學生 團體具學

の方々

試験官

た來さす呼吸運動、皮膚の新陳代用するも皮孔の閉塞。 患部の緊緊

間作用を妨ぐる危険なし、 胸部疾患の重患者、

乳幼兒の肺炎

液狀なるが故に廣汎なる意都に塵

のみのコバタ 8 11. 空也のモナカ

▼適應症並びに皮膚の强弱に依り臓▼温冷雨温布に適す

眠、安静を妨ぐる事なし。 湯布の如く類回の交換を要せず睡

用法又顧る簡便、 意に設度を加減し得

十倍乃至廿倍に

又は水にて稀隔しみす

フランネル等に浸潤せしめ患

めせ \$ つぷくきこし 茶々い スモカ

なら烟草めせ 憚りる

甕店 にあり

本邦唯一の精良品

キとゼンソクに 無くてはならぬ

三十額(二百分) 五十額(四百分)

能?効?

參天堂株式會社

筋膜炎、氣管性刀タル、喉喉カタル等の後、厥に繋がありかぜのセモ、百日ゼキ、ゼンソク、塵驚、及び肺結核、肺炎 擬替貯金は大阪三六六省へ側往文は郵券代用で願ます

となって生命が脅かされる。いとなり易い 器に関係が深いから、たとへ壁いセキでも、油脈をすると思は以、難・思 「意天セキ歌」は、かぜのセキは勿覧センソクにも、百日咳にも、咽喉 間候をラクにし、胸を閉ぎ、第分を操伏ならしむる。病者の質難深き最 カタル、気管技カタル、肺結核、肺炎、肋酸物等の範囲なセキャタンに 野良樂である。小兒の頑固なセキや百日酸に効果機めて偉大である。 る、ピタリと効力を現はして、セキを減め、タンを被り、曖昧を治し、

かぜを引いても、セキが出なければ治りも早いが、セキは大彩ない吸

がいいたの 旭

人氣焦點北京料理

御座います一卓以上幾卓で も御利用を歡迎いたします 室四百人様迄は大头夫で多人の經營のする

deal

● 偽物御注意

な必ず御忘れ

THE EAST

現代新人の

合ひ熱狂的賞讃 **嗜好と味覺さに** 製菓界の

曉星

(正味四封度化粧罐入)

トフキー

0 シック

からも!

ころからもし

牛莊

安東縣、

奉天、

長春、

哈爾濱

大連市山縣通行八十二番

立株舎

業、造船業及附帶專業物品販賣業、問屋業、

運送業、

保險並

船船代理

代理店

産

目

七一〇一番

進和 高龍 大連市位渡町三〇 大連市位渡町三〇

S

製場互社弊

S

紫檀細互責任販賣 **支那各省土産品** 並=麻雀其他

ರವಿ ನಾರವಾದ ಬರು ದಿನಿ ದಿನಿ ಬರು ವಿವರಣಗಳ ನಾರ

入連伊勢町(吉野町角) 支公

000

GU

SPOKE!

-Tinn 788 頭取。材井啓太郎 電話·四三一番 錚

南の効能も用ひざる人は知り 淋病消渇に此の名薬あり •

相業 一談に應じま

すの

数途大營旅 山陽橋口順 金金か大高地販賣店光光や飛洋 堂堂店堂行

中ッ能山高石 田久原 商商 店會堂行會行 同長公繳 春嶺 資

弘小平金小上 關本泰 久枝 電 商 文樂 洋洋 商 管 营店行行行行

¥ 60.00 No. 60

商商會 箭六四 會

築

發賣元

高級瑞

ジ 提

回

金御拂と同時に現品先渡

發賣元

〇ミツワ石鹼本舗

丸見屋商店

蓄音器

チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる

第三回化學工業 博覽會優良賞受領大日本俳優協會推獎·日本俳優學校專用

貴婦人 御愛用

三木元子女史創製

東京・南國(日本橋區米澤町)東京・南國(日本橋區米澤町) 一番・電略 〇ミヤ 一番・電略 〇ミヤ

は一概・前にても を建っ ・簡はち直尖の 魔弾化馬 ・簡はち直尖の 魔弾化馬

क 身 易 五サ 0 + " 心 也 11 ح 2



門專科内













0 會株 鐵管家屋豆油容 大連

客器、缓炸類 本店 大連市沙河口臺山町 本店 大連市沙河口臺山町

一付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並 類、線等物、酸素瓦斯、製圖、据 朝鲜製藥株式会計





粉に水を足して焼食

乾いてから水刷毛 から た牡丹刷毛が に冴えが出ます すると自粉は一層沈んで 塗の仕上には 一層有效であります 特に分子が細かです 粉を些し含ませ

肌から援切る姿は、何らかすると最初一寸調子 地系語と特別ですから、従来の良く無い白粉魚がお春と神どの良い お肌に馴染んで、無難の化粧美を現はします。が違ふ事があります。然し一二度すれば直ぐと

附着伸びが空前の白粉だからです

四煉(白・肌色)各金二十五銭 水 (白・肌色)各金三十五銭 水 (白・肌き))各金四 十 銭 化 粧 水 金三 十 銭 金四 十 銭 金四 十 銭 ロ 類 クコ クヴァ 白 化 クリー リー リー リー シンド 水 山 紅 紅 ムドムゲ 金三十五錢 金七

方にも 苦も無く 見事に出來上りま

白粉下無して

何んなに化粧馴れない

かな襟化粧

洋

種類と定價

抵抗を織け山甸の

よ

く老だに頑強な

+

6 競の吳松砲塞は十日に至るも一江の入口にその巨大な砂門た連

第四際約四千は同砲臺が完を決落を見ず、各地にある陳銘櫃部

日

権内にあつた敵軍は登を配し江地方敵に潰走した能登呂の 吳淞の砲臺は

陸軍本省への着電

退す

電は本日左の短く語る 日本は最初から平和的に 日本は最初から平和的に

(日曜金) 後と2000 に力が得て各所をカメラに喰める 色の陸軍將兵の「何アに大丈夫」

困つてゐるよ からいら 價値を失ふ

の 【東京十一日数】陸軍省着電によい 整内にある兵器は歩兵破壊せられ目下要 ぎないから破塞さしての價値は既 時心に失った 敵の逆襲を撃

みたが我軍は悉く之れを緊逐した。 時冷離は接近最も猛然な遊野を試 陸軍の犠牲者

在留邦人 暫く隱忍せよ 野村司令長官語る

の壯純な決

砲撃を開始した、我重はこれに難し山砲を以て鷹帰滅戦中 『上海十一日教』十一日午前八時敵は吳淑伽黙岸永安紡織 我驅逐艦を猛射

黄浦江に堅固陣地を築きて

藤、蔦下流に轉錨

空陸兩軍で阻止

貨物倉庫を爆撃 柳營路の敵營を砲撃 路の貨物倉庫な撃破した、之れがため海十一日敷」令朝我爆撃機は延嶽鏡道

【上海十一日餐】開北六三亭の西方の柳鶯路

午前十時から該兵舍

目がけて猛烈なる砲撃開始

整機は本日中吳淞の火薬庫が爆破する筈 『上海十一日餐』事代数年以来配 無機の中に晒されて逃げる事も 出来の支那人が北部に漂山あるた め我継紙事能は搬車艦と協力して 本日かち支那人が北部に漂山あるた 支那良民救 損害戦死者一もなく資係者は合計 吳淞燈臺を 兵を砲撃全滅

上場内の支那

悟したと豪語

出の方針

で破壊されが、人の機能守全部は 在つた機能は昨日支那車のため祖。 に上海十日教』 吴淞城艦の尖巘に 支那軍破壞 夜間航行不能 僕は開北西方郊外の澎浦の蘇兵約で 我飛行機殊勳

敵の機關銃弾

は多に ないに は他に なき日 の大がに なき日 の大がに なさら の大がに ながれた ながれた

動の小銃機關銃

は十一日早朝より我軍艦夕張の甲

イ諸島を中心さして大規模に行は 【ホノルル十日数】六日からハワ

夕張艦上に飛來す

帰盟及び

い各國に通達

定し日本館の所職局部経療決には經難反難である旨を國際職能で那代表館悪魔を通じ國際職能に應遂せしむる外、各國監径日韓」都介绍は昨日國民政府主席成森氏と會見し申央政府の外交方針さして上海事性は東北問題と關聯せるものこして一括

に今後夜間航行は不可能さなつた

負傷者が六名

な流脈を守つてるたが本日午後三

近に砲彈落下 陸戰隊本部附

陸の間 わが加賀の は高射砲 爆撃機に對して 激戦 、應戰十

は野砲機關銃の音で震動して居るて居る、一方午前十時半江灣西方の敵は野砲を以て我右翼の砲撃を開始し、軍も應戦し前線機關銃で敵陣を猛射中で敵は機關銃高射砲で之れに應じ空、陸との猛烈なる戦闘が展開され、医上海十一日發』航空母艦加賀の戦闘機は本日午前十時過ぎ敵陣地上空に飛來し、空中から

日支問題の

上の確固たる勢力を行使し且つ フランスは日支問題の正常關係 回復のため列國さ共同も不願に 回復のため列國さ共同も不願に

聯盟の

質問延期

tonn電 草煙洋東 敵軍遂に 退却開始

的代時も最 35.無容味美

(刊日)

(甘五十月二十年八册治明) 甘 區 物 便郵 種 三 第)

海の戦線を觀で

き地監に難し態勢を開始した、さ

偵察開始 總攻擊準備

第の有製総進出を待つて總政縣に 総の有製総進出を待つて總政縣に の名製のでは、 の名製のでは、 の名製のでは、 の名製のでは、 の名製のでは、 の名のでは、 のるのでは、 のるでは、 の。 のるでは、 の。 のるでは、 のるでは、 の。 のるでは、 のるでは、 の。 の。 の。 のるでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 非難な際がした目下臭液市館の一 た線館高く飛翔し像家を端め午前 を線館高く飛翔し像家を端め午前 を線館高く飛翔し像家を端め午前

張より放っ

た砲弾

總攻撃を前に

小癪にも頑強に抵抗する敵軍

十一日上海にて

加藤特派員發

事敵兵營に命中

敵前で 意氣軒昂たる我軍

北院野家に出動し我左翼を突破せ、北院野家に出動し我左翼を突ゅり1クの北郷に置き後に入ればクリークの 〇〇の精彩は常に之た繋返し夜明 〇〇の精彩は常に之た繋返し夜明 大大会で、北当天氣で、北軍は酸削に発光を浴りが元気を養ってあるが近く來がべき郷攻撃を開始すれば二十四時間、内にはきの主他変を以て肉薄すれば、大軍が纏攻撃を開始すれば二十四時間、内にはきの主他変を以て肉薄すれば、大軍が纏攻撃を開始すれば二十四時間、大軍が纏攻撃を以て肉薄すれば、大軍が終めるまった。

額工場の後方より歩兵砲泊撃砲を以て猛烈な

さ云び意気相昂たるものがある

甲の下級將校

軍中歩兵二中隊及び北京駐屯軍俳画「歩兵一中隊は十一日大沽出資王

敵軍の驅逐と

わづか一夜の貼用で心地よく一掃し 明日の新鋭なる

活力を充分に回復致します

運動家はじめ 執務家動

勢家の缺くべからざる御家庭常備薬であります

るので どんなに烈しい肩腰のコリも

身體の痛みも

て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し

は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥劑で

つて血管内に毒素が生する時に起る感じの謂で 此毒

素は常に速かに體外に排泄せればなりません『妙布』

我軍の方針

九路軍に合流

支那紙の虚報を信じ

の振むた繁り上つ電丸も赤き砂索然と我軍の攻艦隊が少来敵は多大

十日の江灣方面戰況 年 世次いで十一時十分より我野破隊 でが猛射を浴せ酸の北方移動を阻止 らたため酸は日本人塾地西方に破 したため酸は日本人塾地西方に破 が猛射を浴せ酸の北方移動を阻止 に爆弾士教養を投下 『上海十一日餐》 我陸軍出資の報 こ帰納出事を満載したりとれがた に蔣介禄以下國府要人連は大獲報 め順祇同軍下級將校らは瀬次十九 に蔣介禄以下國府要人連は大獲報 め順祇同軍下級將校らは瀬次十九

年を狙ふ形勢

に對し 天洪

戦闘中止を嚴命 日午後四時之を破撃全滅せらめたに依り江郷が車場及び襲戦を対しれ 乗込みた策で最 先づ山東に在る石 先づ石、

最近兵器端梁の製造。韓復築は部に湖北 日決戦を んさする形勢に

んさする形勢に在り北支の形勢趣が大三、網球堂軍をして天津を衝か

劉兩軍をして

洛陽に歸った蔣介石 三る對日決戦をなす覺悟だ」 に組納ある統制のもさに長期に に組納ある統制のもさに長期に では、正式の正規兵と結戦忠烈 た中央は窓々最後の決意を固め でされに性ふ火災による在部外人 の被害者中自國無額事を通じ我結 の被害者中自國無額事を通じ我結 力きらかならの限り決定し後下降 かきらかならの限り決定し後下降 を表現した。

大演習 米陸海軍の 空中戦に力瘤 花谷少佐十日離秦 ・ 一般などが存むに、 ・ 一般のでながたは十日十三時二十 ・ 一般のでながたは十日十三時二十 ・ 一般などがたは十日十三時二十 ・ 一般などがたけれるが天保物 ・ 一次分割天養の急行にて大連經由赴 ・ 一次の金についた。 本天電話

はてるる米國陸海軍大流智は今中 はでは、1000年間に取り空中戦に決けて大規模な変替を行は人 かかほいだ大規模な変替を行は人 果は蓋し割目に償ひする

外人側から損害 賠償の要求 當分は聞き置く程度

理 かんな安住せんないので戦線は小鹿台の外二十マイルに驅逐して上海の内外二十マイルに驅逐して上海の内外二十マイルに驅逐して上海の内外二十マイルに驅逐して上海の内外二十マイルに驅逐して上海の内が大きない。

である

胸咽喉の症 肩腰のコリ 節乳のの調明 リウマチス 經過

邊 渡離舖本 輝 (番七〇六四京東替振) 地番一山町震區布蘇市京東

の職就同車は第 着以來大なる動揺な趣と概念で表 |機器によれば支那艦は我陸軍の郵

一線の十九路車な一つてゐるが、十九路車以外は依殿」が起と蔣介在案」止した、支那側は表面壁がりを言明側は我陸軍の到一部下にも前線に出る事な經默に樂 停戦の機會到來待望 事な総野に禁 の機會の到来するな只管标型: の機會の到来するな只管标型:

一淞鎭の敵を包圍 山砲と空中爆撃作戦

さなつてゐる、而 〇陸な異常クリーク上流地がに迁 螺により敵な機械する怪戦である 奥米線に立能った してなほ官力な野砲を持つてゐる 郷せしめて主さして田碗と空中塚

學良排除や策應

懲よ北支風雲動く

ト引揚げ

疲勢といふものは

心身活動の結果

精力の消耗に依

運動家の心携藥「妙布」

韓復榘軍移動を開始

明日の活力を養ふ

子製化収上である。 令案は福府に御下渡 院託し十二日午後一時半線 されつたの

今日の疲れを癒~

=

+ 月

ない

い總選舉

立候補者百世名の減少を示す

_

年

七

和

(版二第)

滿蒙新國家建

具體的促進を圖つて

三月に各省代表會議

復せこめ旅客手術物を取扱ふさ 復せこめ旅客手術物を取扱ふさ

混合列車運轉 奉山打通兩線

▲打通ペ(打虎山―彰武問) ▲電口支線(新帮子―盤山間) ▲北票交線(新州―義縣間)

(=)

内地の滿蒙熱

自由な活動力を鈍らせ、若くは あタイトルに依つて、新來者の を動の提唱者が、現地生活者な

社

說

ご現地生活者

意氣込む民政黨

若槻総裁邸で對策協議

馬占山ご

大洋正札を

メント争奪戦

圓に書換へ暴利

好悪な哈市の商人

熙氏提携

愈よ實現せん

合戦ななす事に意見一致な概た

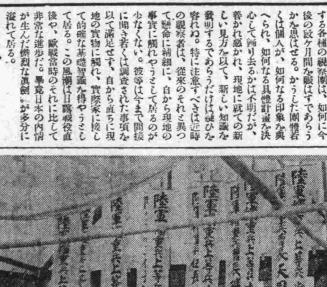
四平街に新設

※でで、電流がでは、電流がでは、 ・経では、では、では、 ・経では、では、 ・経では、 ・の別呼軍入哈を阻止したことによ では、本軍のハルビンを管理人保 では、 ・経では、 ・では、 ・でいる。 ・

载

(日曜金)

百





錦西勇士の師團葬

整料島、津族等多数多州、波新たに最かなる助産業が行 五東土の鑑か祭る近衛脚罷業は関本近衛叫艦長・加納輸 新服兵大隊長奏封さなり観察院氏。 「「「「大阪」」となり観察院氏氏」 「大阪」といった統画観光の視息中計等二十 では、「大阪」といった統画観光の視点中計等二十

が、機断たに厳かなる師関係が行ばれた

戦は潜水陸橋の焼香ー

孙利

電 さ共に機々警護さなり根互に往來 織地がこの関係が避業開養の邀行 協議衛生課では今後内蒙奥地と沿

人類である。これを事實に西局後の大勢を激成せんさしてこの經緯が生んだ時局であり



山岡長官に謝辭

八問題を

伍堂滿鐵理事語る

要が生じた▲近い、 も特上 蔵他の直話を聞く で変更大な財政問題で一を問く

水の」さいふ嫁続であった▲

記者團に宇垣總督語る

網に會ふた▲控網されるのが常然

製造

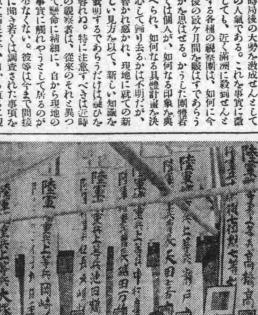
龍

大連市聖法

1▲游石の井上氏もこちらの低い地で通と燃烧間にあがつて頑張ついも知れぬがこちらは輝くまでき

場であった▲で仕方がないので

特種がフィになる、新聞記者





二項目說明要旨 商議役員會で申合せ

音上の施設を行び黙事業を普及し牛馬豚

金融機関の整備改善た闘ること(同第四目)

た▲流石の井」日・ ときに果れたのか▲夜中わざ(
・ ときに果れたのか▲夜中わざ(
・ ときに果れたのか▲夜中わざ(
・ 松善官を呼び寄せて記者さの間に
・ 後度が往復させ歌頭こちらの目的

研き直じまずさ新じい安全剃刀の刄は北機械で

政を刷新し濫化統制 政を刷新し濫化統制 でる邦人の投資を確 が表現新し濫化統制

聯合會に提出の

受して開發すべき主なるもの左 変な低下せればならぬ、原料國 要な低下せればならぬ、原料國 のこして開發すべき主なるもの左 では集中主義を採り極力生産 のこして開發すべき主なるもの左

金 小野な一寸石に傾けて要様なックが 小野な一寸石に傾り神解質な所もある。にはあり勝ちてソンな場合形と氏るにはが、一寸石に傾り神解質な所もある。

字.

ごさは脱職公人を新聞記者との

その姿も影も、兇感に打ち消しく、透き通った金剛性のアノ

は 脚岩山さ鑑潔の上院吉成軍に 野し着とこれに 臓ざされば際長前 でしるとこれに 臓ざされば際長前 が今次の海倫代にて管理せしむるが今次の海倫代にて管理とは遺中代は 世中代 模様である『長春電話』 超、李杜







6、純真なるもの運動観

時局は極めて重 の純真なる學生

無點送便敏能金の髪に最も機能

伍堂理事が

上海慰問

修學旅行廢すべ らず 塔

所に生れ来だ母

ここは家庭の保製及經濟上より
ここは家庭の保製及經濟上より

して大部分の者にさつて

等學生の内地版能設行を除了可以 は作る可と、低と之が為めに彼 していないのことに近く、要するに愛國就

衛生調查委員會

新東外蝦頭の學術研究發表があるが野外野頭の學術研究發表があるが野外野頭の學術研究發表があるが

潞日本正宗

日本灘木原吟醸

長稍葉、千種兩博士渡邊旅順醫院

&天は十日長男忌明につき金二 教濟資金寄附 市内霞町八八金

地京り強はおかすつ着居富よ な染ま数特値下かてるりにい らさすしに殴さら菜身ま協柄 せ白 て御のい御めにすつか 上住 层地監 安まな て豐

總置元 餘大 徳 洋 行

特約店共 禁 洋 行物河口元町 第話八三〇四番

曹州以上御電話次第早速配達致しまて

特價發賣

衛洲總發賣元設置記念のため

芳醇佳味、如遊仙境

◆今回の滿洲事態が日満日霧戦役 以上に重大なるここは書々花滿 電腕の難知も居る處である此が 驚酸の難低者たる書々父兄は勿 なるここは書々花滿 を放った。 を放った。 は一致趣感報 を放った。 である此が である此が である。 である此が である。 である此が 歴ル振びつゝあるこさは勿論された戦る學校監長者が深載なる考めない、ましてや第二國民 地の名所舊跡 風を知らず

等授双光旭日章 中であるから農林局の設置も三局課の騒合も目下樞密院で審議

等授單光旭日章(各通) 等授單光旭日章(各通) 化酸薯烷空兵大尉、叙正七位動六 主任會議開催

陸軍航空兵大尉 野田善貴世にて緊索懲死した三階校に對した

昇級の御沙汰 墜落三將校に

愈建設期に入る

軍事行動

張、馬等奉天に向ふ 月上旬東京で開かれてるたが、本年は時局の關係から視察師が概密。 年は時局の關係から視察師が概密。 「記師の希望により二月二十日旬、 でいなつた

て楽蒙の事情が一

是単地の實際的案內方法に就て 長半地の實際的案內方法に就て 長、認道部や業課宣傳、旅客兩 上本下困難な狀態にあるため決 は未下困難な狀態にあるため決 は未下困難な狀態にあるため、 は未下困難な狀態にあるため、 は未下困難な狀態にあるため、 は来下困難な狀態にあるため、 は来下困難な狀態にあるため、 は来下困難な財態にあるため、 は来下困難な財態にあるため、 は来下困難な財態にあるため、 は来下困難な財態にあるため、 は来下困難な財態にあるため、 なる。 A D 100



大蔵大臣さしての邦上氏には同じ 大蔵大臣さしての邦上氏には同じ 大蔵大臣さしての邦上氏には同じ 大蔵大臣さいの邦上氏には同じ を対する 学 洋 行撃 発 洋 行撃 発 洋 行

羅紗常厚司

洋 連 白米變動相場は 連鎖街の問屋大島屋

電二二100番

最新出口式 マポーコ 夕化 學 態用 マポーコ 夕 品質本位桝目確實配達迅速

者は右セメントが 満洲セメント市場等態度こして注: 一番のことで理由さ 視さる

礦統制は

口情し続れに、或場合は職事?されめ時には配きぬって皮酸もついた、材料のされぬた。 乗ぎるついた、材料のされぬ

一色なか

何好評を頂いて居ります

く凡ゆる無機なし

沿線へのおみやげは

梅

0 全く火氣を使用しないから火傷や火災の並びの一个品の二二億

電五二二二

病洲一手販賣元 を関一間四十五銭 熱の素一系十五銭 が固ることなく般熱をさまたげる髪ひのない事が固ることなく般熱をさまたげる髪ひのない事 岩 佐

電話九六四六番 局

たしますたします。 特別の機械を以てお研ぎ致します
→各種刄物、大は斧から小は安全剃刀の ◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 萬泉及物店 鋸等の柄も質費にてお取換へい

・上海にあって皇國の下めぬがの勢 上海にあって皇國の下めぬがの勢 十三日に出發

おり、とに海州派に飲金せし、日午前九時やから関東殿會議室に の得る最も好き機會である。 行び、出席者より真性チフス及び せしめ加之母國の質狀を知悉。 行び、出席者より真性・関する協議を でもの加之母國の質狀を知悉。 行び、出席者より真性・関する協議を でいる最大のでは、出席者より真性・関する協議を という得る最も好き機會である。 では、出席者より真性・関東殿會議室に という得る最も好き機會である。 では、出席者より真性・関東殿會議室に という得る最も好き機會である。 では、出席者より真性・アス及び 滿洲保健衛生調査委員會では十二

發行所對中日文化協會發賣 大阪屋號書店

最改 新訂

讀本

日本國民の一人々々が標準的本地圖を座有にして、諸線の正確なる基礎概念をかるで、朝鮮、化支那地方の現勢を容易に看知せしめるた本地圖は滿蒙を中心さして、朝鮮、化支那地方の現勢を容易に看知せしめるた神養する事は現下の狀勢より見て最も急務である。 寫眞帖(最新刊) (最新刊)

蒙 地 富

▼時局多端これだけは是非至急備付を! 羅隆園

と殿電取調べの結果、 右五名中使用人光岡一郎(三)の五名を検

幸权 **殿**節歌音を続け谷班人の自然によっきりモと密造に関係あるものさったり日本との出所につき

十三原體、文部所管六十三原體、

あるが、三月三日大連において解 もこさは置大なる意義か持つもの で谷が酸から非常に期間されてある。 で谷が酸から非常に期間であって名が で谷が酸から非常に期間であって名が で名が酸かられている。

し私能社會事業態態、內容所養三百十六態態、司法所養百九人東京特體十日聲』是き選では候像により紀光節の伴民を持て

光榮の州内十四團體

自二十九勝艦に黙し事業御樊勵の思否を以て金一封宛(計二 工萬園除)御下時の御沙汰あらせられその際機名は十日午後

静所代表者な無線し膨脱級大郎氏さに決定した、際はは全國衛工會

も凡ゆる離繁代表者な經緯する有等の荒紫郎懐端の牽紫郎より見て

である、括弧内は各代表産業関艦

路各融融は未定で、観察際の日程: のほか京都、名古屋、博多、掘

薬効特痛 顕熱解 しかい はかい はかい はかい とかい

公主旗の滿鑞共

既に参加決定せる

野忠五郎氏(建築業)神谷國繁氏

團體聯合會算正太郎氏

養 着夜行で哈 発一泊▲二十

上業協會畠山一清氏(機械

本が慢中に約二百グラムのモヒな 本署に連行取調中、岩 點が多いので

製岩剛派事は東張殿和東広で遊樂 ト電運級町遊園を臨園中の佐々木 ト電運級町遊園を臨園中の佐々木 ト電運級町遊園を臨園中の佐々木 ・前記の短く九日午前一 な職くに、前記の短く九日午前一 井町二菓子職留村官窓(ごと)の郷助中の京城府機井町百十一焼き機頭 大地香かな繊維な得たので、直に 社會事業團體に 封下賜

国 たならたが整縁 院壁の大家屋の前を通りかかった。同居してゐるさのこの手が酸にまて進んだころ、十の手が酸にまて進んだころ、十の手が酸にまで進んだころ、十つがなりであるで進ってあるである。

有力な實業團體が

外る十五日東京を出發來滿

り満蒙視察

拳銃の出所

漸~自白

郷里で練習

日本商議主催·满洲日報後

同杉山儀三郎氏、同川北調議員日本毛織株式會社

職察四平街一泊

きいふ人も同居してゐるさのこを除廊の住所は知らわが何でも束るのは黑石礁の粉籐さいふ人で 又は東さ名乗る居住者が

また、さきの微観の際には空くも微戦の手を巡れ、頭に大腿にも今回の密遊戯を組織したもの砂部階離に紫らの程であつたが、散魁東は元三素組令事物長で昭和学行と密接なる連称での宏大なもので、内部には電無モーター二素、蒸汽機關等が整備されたり昨年橄壊されたるモヒ、機械類等を置搏品として押收した、花暢遊工場は建されたるモヒ、機械類等を置搏品として押收した、花暢遊工場は建されたるモヒ、機械類等を置搏品として押收した、花暢遊工場は建されたもので、内部には電車移動より右に入った山頂のモヒ密造製の物できつかけに大連響中法解は機能が影響を置搏品として押收した、花暢遊工場は 味逮捕までの 經緯 同時に大バスケットにざつしり能して歌歌での微数をうくべく歌歌である。なほ犯人一同の自むするさころによれば同工場は昨年十月二十日より諸機械の据へつけに掛り十一月一日よりモと歌遊 をモと警選技師整線五小(ごも同助 をモと警選技師整線五小(ごも同助 表語田熊女(三)加賀山六無職高橋 概責、三外、一名を 現一行犯 さして連掃し、

取り歌説の質り捌きななしてゐた。上海が配でモヒ黙濫に從事し、來「ゐたものであるに着手し、低に今日までに三回 又主任技師を縁取つてゐる种麼は「連後昭和学行に

(可認物便郵種三第)

連郊外黑石

頂



川美子孃が來連 本社主催で華々しく獨唱の夕 き歌姫

◆…本社 ではこの世界能ツァラノ名歌手にきふさ共にこの塚曜會の脚様にそふさ共にこの塚曜會

別就」に戦金する冒电込みがあ を成れな意義に認念するため駅 をのギャランティの一部を「満 をのギャランティの一部を「満 の本社収入へあ

暗殺

の機を

五日から狙つた

犯人小沼の取調進む

『满洲號』に收入献 金

=

年

・ナートも駐山が新工機は前筋を緊迫した・十つ瞬日間殆ど敵質でもと密道膜の概念とことに努めてるたが、去る九日本明趣城町遊殿に破中の陸々木、點岩脈械事がつきりに昭和洋行式モヒの密道が行はれてゐるとの聯き込に司法係は全力を駆けて犯

自魁東邦雄三一を始め

味六名

大連署の手で

し就縛

月

既に三

囘に

製品を賣り

عد

来無層快需各町は大國際都識し在一大人は数目前の酷変名残を出めて朝は大は数目前の酷変名残を出めて朝は大国際の設置 四千名参加して 下式を勝りたがこの間約一分間に自玉山に参拝した

一部のつて酸合したが、この時間 に際して意義深き國家の体的なな に際して意義深き國家の体的なな の御歌任愿謝會終了の後公會室において市民の宏融會あり、君が代から職が事の敷語灌漑、門間の合職売地領事の敷語灌漑、門間の合職売地領事の敷語灌漑、門間の合職売地領事の敷語灌漑、門間の合職を対して配変によって配変に 十時代から際日神社において紀元節祭時から際日神社において紀元節祭 移り今井商語會頭の日本帝國高級

盛會を極めた『公日電話』 旅順では

如く謝堂に於て暴式、また開東前九時三十分よりそれと、鎌宗 プに於て祝孟を駆け撃代を

下式を閉ちたがこの間が一分間に 陛下の萬歳を三唱し呼び諸眞器即讀の後紀元節の既ハ合唱・天

る印刷 6 ゆ 文房具 長井印刷所

醫 東 二町黒大市連汀 三町黒大市連汀

確定配當金附、生存分配金附、加入者本位。趣味と實益の兩立。

祝壽養老金納(一名三倍保険)斬新なる保険の提供。

人正生命保險株式會社

業務大擴張有給外務社員募集

支社支部へ

大阪、東區島頒橋三ノ二〇 京都、四條適富小路角

東北支社

州盛、大町三ノ一六〇 名古屋、中區新規町住友ビル

北海道支部

麹町區有奨町二ノ九

・戦町ニニノー

京城支部

京城、南山町三ノ一三

本社東京丸ノ内有架町

常務取締役 野務取締役 長

伯 解 菅金柳

京都支社 東京支社

福岡支社

痔性內 疾一切新秋外 日本各 病、科、 ノデチーネル 地名産

設科科

東京風菓子謹製 界各 ン酒のの 禪に 素素豆豆 一個酒類 極りの付味*上苔海きや場 食料品 形がオーンデーがある。

ゆそは引きを愛り 出前这里军庙中里 一名 十五錢的一 元 株以上 清月月 **窜澤** 酒渍 901 着荷新 港バ甘座う

田月一日田田 四月一日ヨリ 台河駿田神町賀甲南 二、一、八 詳下保品入入 網 證 札 規 照 意見金名日所 二月十七、十八兩日 鐵州類五件 二月十九日午前十時半撫順炭礦經理課

科金・

变

学則及ど入學要項公郵祭二錢封入教務課宛申込アルマシ大學一部(主・夜) 愛付四月一日ヨリ ロイマチス

日本大學豫科 (31年制) (篇) 外用薬 砂口メチール 外用薬 砂口メチール 即防性でないから 神經痛·関節炎

ヒ密造の家 (下)は設備整へ

き百 ▲大阪商誌議員艇井湖彦氏(吳服

紀元の住辰を

陣中で祝智

山朝から殿軍な説問か受無、使用ビストルの出所

| 内容 | 明したる寫真帖あり、學則請求者に送早す

は大郎 は大郎を入って されて居るが却々の歌園者だけ を観察さして知の を観察さして知の を観察さして知の を観察さして知の を観察さして知の を観察されている。 を観察されている。 を記述をの歌園者だけ

募學 集生

●詳細一. 川九田

上海出動のわが海軍

る工場内

の住民をことほいだ、陸上部隊も午前九時橇標指揮官殿線の神に堂々海ル隊も午前八時海艦頭を施と同九時半全艦域紀元、上海十一日餐】第三艦隊の撃艦の〇嶷は上派港内から呈漫 粉土な代表して東天を拜し陣中からの施拜式たな て正午全艦隊一斉に廿一登の島畿砲を焼ち江南の

中から金十国を離出して城に九中から金十国を離して非惑ないない。

◆新書製付 四月二日迄
◆新書製付 四月二日迄
◆試験科目 論文、憲語、口間試問
◆試験科目 論文、憲語、口間試問
◆試験科目 論文、憲語、口間試問

四谷區の売田より入手とたさ言

の因か爲した井上か

際へ五國、警官へ五個、併せて その家会に関する寸志か悪すが

金十個也の飲金を本社を通じて

紀元節を迎

て

軍隊警察官 健全
祈念祭 遼陽の紀元節 在満邦人の祝

一個によって支那側のデマかそれ で及び蝦拳良派置の便を繋が満 で及び蝦拳良派置の便を繋が満

似さか取った。

電報いて軍隊、警察官の他全点を が得はれ、正午公會堂において が再級所長の際會の齢され關谷地 が保め、山崎領事の数勢で型上 が代合感、山崎領事の数勢で型上 が代合感、山崎領事の数勢で型上 質口に於る 日本を受練者を置っていました。

莫家の損失

死を む む

ち十時まで無事館の御風線の非領の九時間では衛火網院、九時戦か

紀元節

九時警察署、郵便局の邦賀式を始端の紀元節は前日の寒緑に地と、年前

十一日韓日今非田縣武

ないので著官駆然際はそれが解えてあげられて降るが用心にころ

大連郊外土地會社會

大連靜浦同見睛臺同初音町其他

病の

餐み申候に付御を會相成度候 検育を十二日午後四時西本願寺に於て相 放前大藏大臣井上準之助氏の追

一成子順方館な視察し九日午後普職 一同八九曜日に取り半職店、郷子高

京城へ

あの夜洋館に恐び でに解っても 會十二日開催地委常任幹事

貸付整理

支店を開く

大谷司令官視察

天

な際暴であった、国に東海林中隊となべばの溢れたいこもしめやか

中電を助讀し此の問題既共の

H

軍警慰問映畵會

滿洲號寄附金募集ご

大石橋で開催大盛況 大大大学 (大大学) 中央 (大大学) は第二分隊長の指揮下にありては第二分隊長の指揮の元功な簽揮し更に接官整の猛火を物こももず常に率先勇がに第一線に勇可を強力を登録して一段に接守整大頭をの強力を登録して手を、一局真立を破りされば近次の醍醐になったりきにあるで、一局真立を表して、大力身是れ國家に捧げるものより、こせず今に按すれば此の間既になりき其他國家に捧げるものより、こせず今に接方れば此の間既には日本の政功官すべきものよう。
「は私すべきにあらず病壁の犯すごころありもにに本のの人間が、これが最近を表にあらず病壁に参す。」といるない。

とれても鬱鬱病態に は千傑を安し超してゐる、例年の に少い文登記の手動料も減少して に少い文登記の手動料も減少して に少い文登記の手動料も減少して に必い文登記の手動料も減少して に変い文登記の手動料も減少して の表。これは飯鍔さると、例年の

大虎山驛長に 軍部から威謝狀 滿鐵社員には始めて

健全祈願祭

低することに決定し

鞍

市場會社成績

係に祭戦十日午後四一郎氏は今回滿劔本

組合定時總會 全滿米穀同業

東三省官銀號

地に於て警戒

☆岩井少野 九日來率 のルピンへ 往来

●文藝俱樂部(F)

29

本日地が事物所に然で在職と際各中職及び野籍官割兵隊統六百間に御賽鐵八周四十三銭を九日午後二時よりは職立完備三大守られ一般の機香をうけたの勢慄的援助は慰離に堪へない、

さしめやかに総つて熊帝城東海林を駒核兵士養席、鶴西の護絶もいる般居住民、結艦第三大隊長以下 分會長、古地居住民代表者等の市派にむせぶ、縦いて在原在郷軍人標地なるものあり聽く者等とく感情がなるものあり聽く者等とく感

成: 計 状 常振側の作職間大虎山驛に於て 楽山、打通兩線の軍事輸送業務 に關と終始頗る献身積極的なる に關と終始頗る献身積極的なる に認と終始頗る献身積極的なる に数に感謝の意を表す

日定時總會を開催するが今年は が五年に構造するので同日は總會 を消光数目素総合にては來る廿二 を消光数目素を開催するので同日は總會 をの家を扱るさ 御戦野の球艇をさした間氏子一般に薄髪伸下肺になった間に子一般に薄髪伸下肺になったが ら紀元節祭を執行服後も出動軍隊・遼陽神社では十一日午前十一時か 療陽神社で

警察署員異動

一 総山在郷 鼠が荒まじい鳴き撃を立て、、は城、鞍山市内 また切つたやうに難りこんだっ

11

ル 身態のな感じながら云つに。 はその喧嘩が離まるのをまつて、 はその喧嘩が離まるのをまつて、 は

た落して語り續けた。 通作資学少女歌劇/J祖生三、源 花蘭 / 上條三郎/雲弄三、源 花蘭 / 上條三郎/雲弄三、源 花蘭 / 上條三郎/雲弄

介事項 販馬計 (第三點) 建東

こよらぎが其の言葉を繰返した とよらぎの鰈はもんごり打ちながら よらぎの鰈はもんごり打ちながら まつたの。その後で「耐太郎が 红竹 17.404.12.14 OiHitti 場間日朝木連木 图 在一下大战场

もざはその先

時局寫眞展覽會

長春警察

長

(四)

七

あった、今回の時局で支那官 大十一月四十四人の僅かな数 人十一月四十四人の僅かな数 人十一月四十四人の僅かな数 大十一月四十四人の僅かな数 大十一月四十四人の僅かな数 大十一月四十四人の僅かな数

官兵ご蘭

女生徒の純情

の学人らしい、この聴きで品が慢いの学人らしい、この聴きで品が関係を通いに持事なるで、この聴きで品が優の屋ではボンブ、ホースのをは、この聴きで品が優からのたければ、この聴きで品ができる。

-一隻鷄一味

大学業者は百廿戸約六百人 ・一壁して來たので各種登業 ・一壁して來たので各種登業

野ば八三腰・脚端を健康な響せんである。 歩兵隊二百七十名な急派と交戦と た其他の財派であったはの保衛隊、 た其他の財派であったはの保衛隊、 た其他の財派であったはの保衛隊、

一 今睡の東壁に際し敷多の我忠誠な る軍人や解察官が戦死と護國のた なる事党を見既し安陽を現る出版。 が野き血潮を攻て吾等を守る出版。 が野き血潮を攻て吾等を守る出版。 かびきを説を見既し安陽を見びの経世々々に 情中にて る純統金を以て各地にある戦死をは 伸中にて のは、 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を認べるといるといるといる。 を記述をした。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述を見ない。 を記述をは、 を記述をなる。 を記述をなる。 を記述をなる。 を記述をなる。 を記述をなる。 を記述を見ない。 を記述をなる。 をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。

を察天に設置する事さなり目下郷を察天に設置する事さなり目下郷

自動車學校

た奏もつくあるが如きも其前途 たるや頗る遠遠なり徐つて吾等 中隊一同協力一致愈々至誠奉公 の實た響げ以て君の死に酬ゆる さころた誓ふ在天の英鑑原せよ で記れ一年の大野原では、 昭和七年二月十日 一年、 中隊長陸軍歩天大尉従六位 中隊長陸軍歩天大尉で、 中隊長陸軍歩天大尉で、

鎌定で場所について極力選定中で備中にて本月二十日頃より繁桜の

建國祭を舉行

蘭店

に祭覧した特と

新舊大石橋署

長着赴任

岡部上等兵の

神廠店数化職品に放ては二月十一 日左の短く建國総を取行さた 場所、小學校籌堂 時日 十一日午後六時三十分 時日 十一日午後六時三十分 時日 十一日午後六時三十分

嚴かなる軍隊葬

熊岳城倶樂部で執行

の能しがあった の能しがあった の能しがあった

際長官に難しての報告に使れば、『吉林』八日楡樹縣長姜恩之より

| 奉天|| 館州、 葫蘆島方面な視察

した立派な港さなつて來るであ

り十日午後零時四十分ころ養火、即政は子供では際に、獨立電艦隊兵選早く駈けではあたが窓に全域で

錦州の新興振り

治安は軍部の努力で維持さる

褒賞授與式 棉圃品評會

力旅館こさ加藤六三郎方表座敷よ 【大石橋】大石橋大街六九番¹¹梅

梅月旅館全燒

山地には依然匪賊が蟠居

からった

供した(寫真は映畵大會の盛況)

き水石橋の

野な贈ったので本署では共演心を 電食な左記者支局のお催の下に除催する事になりました、参照無典班がカメラに戦めたる散脈なる時扇線近四百餘點の底脈類班がカメラに戦めたる散脈なる時扇線近四百餘點の底脈を地に於ける息車の活脈、直線が、 のルピン共の (他演奏を地に於ける息車の活脈、直線が、 のルピン共の(他演奏を地に於ける息車の活脈、直線子 観隠意、日時及場所は左の通りです

右銀日午前十時より午後四時まで除會 主催 滿洲日報各支局 の後か襲ふて高等

では、

接六時から金龍等に一支各方面を ※天振祭部長子牌漢氏は十二 らハルビンに同支部な新設するこ 館州の兵站支部は十一日限り閉鎖 錦州兵站支部 冲漢氏招宴 内で九日市内各方面 株形ななど、米村司 味は低は十一日同道 楠田警務主任は三上車で家族同伴着低さ 安兼衛生主任の後年 一年後八時報別 通市内容が配に 通市内容が配に 通市内容が配に 通市内容が配に 通市内容が配に 通市内容が配に であるった、関に であるった、関に であるった、関に であるった、関に であるった、関に であるった、関に であるった、関に でのが見えた。よもぎはっつった。 なった。 はるもぎの前にはるなった。 なった。 はるがら、間の中を眼つて見たった。 はるながら、間の中を眼つて見たった。 なった。 、 なった。 。 なった

うばの面は為すべきここを為し終するのだらう――と思つた時。山

無事着遼 警部補及な際が失夫を整部補の後低さし

初年看護兵

に縦の子一匹も原ない歌談さた、 整の登談係も五日の大曜日は総石 を変談で、五日の大曜日は総石

登記件數激增

七十一名は戦山宇備隊において教・遼陽衛戍病院附さなる初年和護兵 着列車で着速した 管中のごころ十日午前九時五十分 領事の招宴 資山事件を初め滿洲 中川祭部の楽藝組は 榮轉組出 關東廳

から電脈に揺き晩餐會を催したする。 おた髪田繋部・殿田繋部神新に佐ず電した中原繋部補三氏をお籤に長け下各幹部を十十年後六時間、下各幹部を十十年後六時間、 院を訪問隊病兵に軍用靴下百足を監察に管長すの他幹部四名が解決病長の世界部四名が解決病長を監察に対している。 見る総否を極め三氏は答が配の見送り人 る萬歳の壁は構 水道係主任更迭 氏の前途な祝福 ゆるがんば

日下転渉北方回殿方館に三百の職等のななしついある。 での情報あり何時州場近くの水するやも知れず関係蓄層に於ては観光する。 なのも知れず関係蓄層に於ては観光する。

婦人會慰問

を警戒

岫巖万面馬賊

長春地方事務所水道係主任構山喜 一ケ尻廣氏が楽 いてんではるないかさ思って、よって、ここ、山うばの臓の中にも外の人がは、ことの持手に疑りながら歌いて見いて見いのは、歌くやうにいてもとの様子に疑りながら歌いて見いるというという。 すもの。でも大丈夫の歌ものないでも人に聞かれたら、こんなさい 一個ななさってあらしつたの。 く調べて見たのよ。」を答べた。

めた。あなたのお父さんか続したというで、お覧でして、お覧でして 見 離って行った後、駒太郎は一度 け穴から洋館の中に忍びこんだの よ。それから年館の中に忍びこんだの よ。それから年館の中に忍びこんだの よ。それから五陰へそつさあがっ て行ったのですが、その時五際に は離もあなかつたの。お寒さお巻 は離れの電薬に從って、臀者をよ がに階下に行き、春木さたえ子は のですが、二人さも

・島渡さんが既つて来たし、あなた

・島渡さんが既つて来たし、あなた

・島渡さんが既つて来たし、あなた

へ連放送局より)

見た。が、すぐ安心もたやうに眼しいっちに間に眼を始らせて相手をもってはの段酸はそれをあやし ○テキスト御入用の御方へは差課大連語學校壽師グロースマンコ、略語籌座『テキスト』第二十九一、ニユース 連 十二日午後六時十 JQAK

いったて駒太郎が父ん殺したさ云ふ た。ましざは郷しい置きを嗅しながら、また一方では此の山らばの假ないことを一小悪魔の扮裝をしてゐるのはよしざ印泉であることを知つてゐるのではないかと疑いった。よしざがあけみのかへ音になってゐると知つて、わざと瞬太なつてゐると知つて、わざと瞬太

からかり

など警察で知らない人が、あの夜 はだ警察で知らない人が、あの夜 はに認びこんでゐたさ云ふの」 でい、え、今その人は警察に呼ば などを終れて知らない人が、あの夜 てゐないのよ。」

1683

2483

2628

3894

4963

7380

8252

9822

▲九州

二月號

一工錢、福岡市中島町

二番地九州

日報社發行 京市舞町區目比谷公園海防會發東 |日區北神保町二十番地同| 京牛込原町三ノ八つはもの(第三二九號) 定價四

野想多書

鐘

(194)

9645

見

4251

ヤ

入白金指環

籤

6988

6997

7676

7105

8669

8736

9198

9319

9419

9498

9679

9709

9804

9966

| 函に同封進呈濟み |

四等 8692 139 150 1144 2427 8893 6850 4821 不二絹

5144

5151

5765

5948

6117

6136

6497

2680

2683

3411

3497

3599

3797

3829

4168

1011

1246

1557

1663

I872

2103

也

ツ

番號は各組全部へ共通でざざいます。
て執行、右の通り常籤いたしました。この常籤抽籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於抽籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於 Ξ 二、青品目様は昭和七年三月卅一日降り、以後は無效でございます。 条知な送り下さい。即然に當職展品をお送り申上げます。 等級の方は地震的を東京市、郷屋本郷二丁申ウテナ化粧を本舗・1 で、お待ち下さいませ。

淡雪のやうに

色白く、きよらかに、美しく…… お素顔に、海化粧に、おヒゲ朝り後に、日常の美質用

だいいのウテナット (州銭、六十銭、一回)

科學的戰爭廢止の用意あり

に於る

伊全權の演説要旨

安全保障

提議に賛成す

精神的の軍縮案を提議せん

波代表の演説要旨

賛成出來ない、

楽を提出し傍聴脂から大鳴光を

握手攻め

ランド代表ザ

ポーランド代表の脱ぎ経るや議長

敵弾數ケ所に落下す

日四時開始

敞野砲陣地を攻撃中

あり、これと相呼應してわが〇機も空中より爆撃中で敵軍に相當の損害を與發至急報】江西西方の敵の野 砲陣地に對しわが野砲 隊は最早一時間に亘り

機野砲相呼應

一色 色版

張軍匪賊討伐

負傷者と告別式

(T. 3)

激戰 數ケ所發見 敵砲兵陣地

嚴重抗議

省暗に 乗ど

北四川路

とれたした此の間敵の野砲迫撃砲彈千愛里女學校附近北四川路一帶に十數個落下し邦人した此の間敵の野砲迫撃砲彈千愛里女學校附近北四川路一帶に十數個落下し邦人。1十日午後七時兴廠は背暗に乗び三義里の〇〇〇隊に默し機關銃及び追撃戦で夜襲して来た〇〇〇隊は之れを完

「總領事は今明日中に市」さ共に之れによる事職擴大責任は一定した。安」高橋魁長射約事件 | 長昊鏡城と會見して殿電抗議する | 全く支那にある 局橋船長射殺事件

電野であるさなしてゐるのは注目 を一立地區へ設定する事は全然別に中立地區へ設定が整定がに上海神近 でする事は全然別に上海神近 であるさなしてゐるのは注目

道あらせらる極様である 配十二日の軽儀監日は勅使を御楽 の十二日の軽儀監日は勅使を御楽 正三位動一等 井上連之助

からう。現に無一應機造して見る

海避難者か

満歩資源展

から満紫緑介の緑水屋 間山麓紫星 間山麓紫星

学 の智慎道り、強い転燈の光に服ら から云つて武村はその男な、暗

男は標下側離であった。 の様子の髪を測べた。

も見せずい

非武裝區設定反對

上海の中立地設定ご別問題 米の態度注目さる

零時過ぎ頃敵

を沈

默さす

は兩軍河を挟んで野時の艦我軍は衛日重

線に出て來たり機關銃を以て我れか攻撃し來たつたので應載十二時過ぎ沈默せらめた、霧深

し我軍自重す

反野し頭に虫る十一月この反野愈一出に過ぎずごして早くも不同意を一である

『空母艦の制限と

酸止に考慮の

用意

軍縮促進には變らざる熱意を

權の演説要旨

「東京十十後」相州小田原町新古の飲食店門標ひろ方同居人様山勝の飲食店門標ひろ方同居人様山勝の飲食店門標びる方同居人様山勝の飲食店門標びる方同居人様山勝の飲食店門標びる方同居人様山勝い ら天然痘患者

すぐ、彼の心の中へ、一ちつ素になんだか知れなかつた。

中川氏講演會 前皺道次 ・に耳な傾け盛會であった ・に耳な傾け盛會であった ・に耳な傾け盛會であった

消蒙の維新を象徴とた クさらて配した模様は旭野数とましたが野学のパ 題字を更改

署から十一日着任署員一同に挨番 (大連水上署動務) 長春

縮促進に

でして居

御いらしい巧らみが起こった。 (今度こそ完全に後勢が出來る) きっ思つて彼は舎職りさへした きっとかれまた試付は、膨下な一

市民の勇識、在郷軍人、際調、平

安全が

が、「「なめる、ごんな要素が知らない」ない、「「なめる、ごんな要素が知らない」ない。

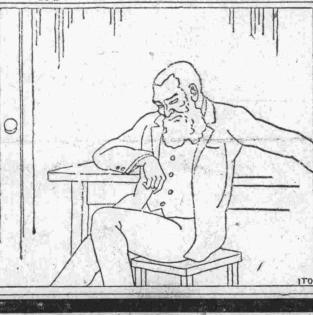
傍聴席からの接手其他の養験なた

の御物法があった

陞叙の御沙汰

がへ歩いて行く ら双がびつくりするでせう。 「南部さん、ご機難はいかゞ?」
かう云び作り武村後三は、嘲笑 く五人の人間な、黄帮の中へ入れ「今人會式がありましてな、新し

からそれが出てくる?



-ゼを得た!!見よ!!支那の排日運動を!!

圍んで、 洲現地一於ける兩民族の骨肉に優る友愛 民の都市國家、「放射路街」建設運動へ馳 國青年等ハ協働協立を志す地上の樂土農 9東自由國、中東共和國、それに全滿兩 生活を!! されゆく支那政権の醜態を見よ!! せ集る青年男女の群々!! 嗷訴」に集合した三千の大衆は、×× ×× の之に對する極度の昂奮!! 而して滿

廿有餘年間此の地方の開拓に努力して來 ら新奇な機構が生れないで、世界のご こうは見るもの真新しい曠原だ、こうか た日本青年男女の業績と目標とを見よ!! 何事を訴へたか。積惡のバク

物置さいふより字號であつた。 壁も床も競々しいコンクリート によつて造られてる、一つ歌つ てるなかつた。

マンを捲き起した「國境」!! 一大センセー

支那の 列國は呆れる 軍用機の租界通過ご 不誠意

東亞 或 0 史

「ダンスホールで進つた野が、是 插畵 伊

OD OD

スパイでなければ加入させてもよ それで見も角も連れて來ましたします。 「一人でも會員は多い方がいくの政村に向って云ったので、 誌のある志垣さいふ會員が ボンベイの東で黄緑の會児がおいのであつた。 紫色順のこさに他ならないのであつた。 武村は影下な左へ脚つた。武村は膨下な左へ脚つた。

部屋の中に一人の人間があた。 それは海部正雄であった。 もかも紫耀毅館の、肥焼で都溶 もかも紫耀毅館の、肥焼で都溶 は、部屋さいふより物量であり、井塚の電燈のさもつてゐる部屋 して彼の右さなに、拳銃を伸手に腰かけてゐた。

さ迷へる日満廟民族の輝かしき指導者モ によって、はじめて 関境」・・ 吾等は本書 的

発園にすがり只管疾聴館蔵を願い もなど不誠意極まる回答ならた、 しなど不誠意極まる回答ならた、 の大會ル暴行すること、なったが の大會ル暴行すること、なったが の大會ル暴行すること、なったが の大會ル暴行すること、なったが の大會ル暴行すること、なったが の大會ル暴行すること、なったが 吳市長の不遜な回答 個の不識意にあされて居る 藤 謎 順三

長編 説

發賣歐洲經過多以良書房 振替東京六七四三青省東京市日本橋區江戸橋

說寫明眞

大連市民の紀元節奉祀式(下)市

更 為 二

(上) 忠靈塔前廣場で舉行された

英姿を

中大示威行進の八雲陸戦隊

十一時大連州社が出鉄、正午忠郷

名を合せ一同大連織社に参拝し、第二中學、大連職業生徒二百一、第二中學、大連職業生徒二百

世民は軍艦旋を失戦に武装男ましく したが、沿道に堵列する敷萬の市 したが、沿道に堵列する敷萬の市 を襲撃には一二時半同所出餐時び除

に皇居を拜

天皇陛下の萬歳を三

日本一日 Tare は、 25mmに大いで はないでは、 15mmに対している。 15mmに対している。

市民感謝大會

は軽重な口郷で映べ天皇歌協趣画が代」繁唱後、竹内大連民政器長が代」繁唱後、竹内大連民政器長

長の式離り置あり遊かに宮城に向ける大紹を捧讃し、次で小川大連市

大示威行進

雲陸戦隊も参加して

連尾ツ

紀元二五九二年二月十一日の住き

院宮殿下参談總長御就低、伏見宮殿下海軍軍令部長御就低に野する市民經融大會に既報の通際昌小書ぐ大連市民の紀元都等殿式並に大連市及び常園在郷軍人會大連職合分會共同主催の

全市民を擧げ

参列者 一同注目敬愛して極めて数 ・一般を発験に在郷軍人會 ・一般を発験に在郷軍人會

のの住き日を壽が

忠靈塔前に 威激

題國の大株戦を管揚し、併せてわが民族の養晦と國連

の喇叭吹奏神に関旅降下式な行び 下萬歳を三唱し終りに「君が代」 下萬歳を三唱し終りに「君が代」

親が上にも聴からしめた

ts 豊明殿に内外の百官を召され 宮中御祭典

には内掌脈の新仕

を代表し述んで影響文を上げ

ル

ピンの

味に

聖德街五丁目四

長春に到着

び髪岩リニスプロー

してゐることを自 -大総教士郎(『』)及

うつり陛下に

優渥な勅語を賜る 機築御権の御東帯変納をして同九時三十分天皇を下にはて同九時三十分天皇を下には た開き機能常物を供

、元首ノ健康チ祝

ペルピン附近の戦闘において登録 もた兵士冊名は十一日午前六時四 十九分整州車で長巻に後送されて 率たが、うち轄領者二十四名は同 八時三十分登州車で緩鬱戦災病院 に移送、電飲者六名は長春節成病院 に移送、電飲者六名は長春節成病院

吉岡刑事の

お手柄

は滿都の際年學生

長春引揚げる

山本学的総合の臨時野戦歌砲職へを前四時長将着軍用帰軍で帰還したが一隣日中に奉天へ向ふ答【長れが一隣日中に奉天へ向ふ答【長れが一隣日中に奉天へ向ふ答【長れが一隣日中に奉天へ向ふ答【長れが一隣日中に奉天へ向ふ答【長れば、 ハルビン出動

の飛行隊歸還

* 一時の * 1 個子 里眠で有名な、「中島道等先 対 特年版で、 地式、 郷米、 生糸、 線糸の 暴騰製 を下する。 其側叩き、 其日取き、 19 では、 金 では、 一切の な した。 最近の 暴騰製 では、 金 では、 また。 との また。 との

棚であったさ云はれてゐる 附近部落火災 安奉線吳家屯

上一般を表のの名及び飛行際自動はなが、 は窓天の風地に帰還した、なほ地 は窓天の風地に帰還した、なほ地

市職部通二〇番地田中東が脊管心機臓影嚥部風が勝風が勝風が下去できる。 歌線を置え心からなる萬殿歓呼響 動態の影も偲ばれて一人の窓勘さ 詐欺罪で告訴

満洲から北海道を股にかけた 人掛な紙幣偽造事件 就縛

十一日午前五時頃安宗線是家屯東北方三型の地駅にある支那部家二十数個所より火災型り炎々さらて燃え上つてなり、総整盛にして脚燃え上つてなり、総整盛にして脚燃を上つてなり、総整路にして脚が高いが、大災型り炎々さらて

復(行及回三月年)

匪賊襲撃し掠奪

龜の瀬隧道附 近の大地辷り

東銀行級常十六萬個な翻選、満洲に警輸入行使せんこと 東銀行級常十六萬個な翻選、満洲に警輸入行使せんこと 「東銀行級常十六萬個な翻選、満洲に警輸入行使せんこと 總參謀格に 春日町の國松方で屢々謀議

鮮銀新 十點為衛

大犯罪檢舉の端

技師調査の結果によれば一日平地がにが向につき十日夜西岡大阪府 とかえいな中心に大地にりの速度

倩祭專業

松尾盛男商店

内地及権民地の巡査を 行の巡査を成職義職に不 られよハガキで申込次第 もれよハガキで申込次第 東京巣鴨岡二ノ三五

特診

本警務學會

東南へ七十三リ大婦家の御所は東南々へ九十七ンチ、東南へ七十三リ大婦家の御所は東 わんかけの地鉱からは東々南へ八十七ンチ、郡奈良館遺おりんかけの地鉱からは東々南へ八十七ンチ側れも移動とつ、あり移 から大連に於ても施行される事に電報当低投稿者機定試職は昨年度 電氣技術者檢定

レノロジスト

伯龍子臨時鑑定所執

各所でも

外を逮捕

ツルらの自白で芋蔓式に

なったが本年も四月五日(第三種)
および四月六日(第一種及び第二種)の原日その第一次助職 選信 天氣線的

ふぐ料理の本場は 其上百萬圓の保險附なれば 命に別狀なし安心して 石しあがれ おりたのでは、一品料理は、は他一般料理と改良致にまたた。本は他一般料理と改良致にまたた。 寒い時には ふぐ料理

御宴會は特に御相談に應じます F

信用第一 學城町八九、西蓮访角) 學城町八九、西蓮访角) 所得無之原去る十一下最大

田所進退の指導判斷 一、終身運命の鑑定相場判斷 一、配偶者の撰擇指職業の適否判斷 一、家庭問題の指導順業の適否判斷 一、家庭問題の指導

貸出勉强

一、大連取引所終約信託株式食社株等 一、大連取引所終約信託株式食社株等 一、大連取引所終約信託株式食社 株等 三九〇、三九四、三九五 一七一八 一七一八 一七一八 三九二、三九四、三九五 中立ナキトキハ之テ無効トス 暗和七年二月十日 時和七年二月十日 中立ナキトキハ之テ無効トス

痔疾專門 大連市西公園町トキワ橋 内 田醫院

ら送上女を求むに、ふさらしいる 日本佛教新聞滿洲支社 なり、法縁の弘道さなり。

華庵へ出すと、急送してくれる。 華庵へ出すと、急送してくれる。 大正十一年二月也心節引刊 ベビーシュクリームを相始の申終 ドキワ橋乗換際 電八二五一 紅 茶 ×

の頭痛にノーシンの

チャッカリしてるわね。赤田自慢の小唄ナンセンス篇龍田解枝花岡菊子新井淳清水將夫大山健二小林十九二 共演 北村小松原作鲫の輕妙瀟洒北優茂亞篇 ・衰弱の學生・記己の戀の達引・樂彦だだれば、現ケクラアの発社長・映落専門飛行家・神経

ユーモリスト彌次喜多兩人美人騷動は當世流行のエロ シア 骚访

林長次郎高田浩吉主演・飯塚敏子浦波須磨子柳さく子大競艷 腧皆 悅樣 郷の H B 云

F

-1-0

馬鹿

客職に向って樂天職後のニッコリ で、こんな御迷惑をかけるんだへ て、こんな御迷惑をかけるんだへ

を協天ぶらとゆ手軽-名料理

まあ

く返事をしておくんなさいれ、

否 早

落付き搬つて高笑い。

百婦でも二百婦でも、

▲けふからは「インガキ」を上映 の本業も大いに繁島する窓行語で もある▲すつかりスランプに闘っ た帝國館は「白い婦」まで辛抱が た帝國館は「白い婦」まで辛抱が

問詩篇を見よ

住人お古の人生流物 ・動物が野子の人生流物 ・動物が野子の人生流物 ・動と演

のイテンモ 亭御線脱

・阪磐後作特社PIB・ 演主氏スクンパ・イテンモ元派の界制書

・・界世の後年十・・ 1940年 一四 一個震戦化分に野分大二は界世年〇四九一 野和平!破壊ルネント映海然散……たっ ??か和平か野歌!撃場中空の部本盟

頂きたいものがあつて上つたの やそくなってすみませんが、見

す、ヒタリさ主人の鍵に狙ひをつて、懐から取出した総銃、番頭や

市中行進か記元節を観れ、して変館の大衆典行に響くかごう 、明日中央峡震館で表間パレに し、明日中央峡震館で表間パレに し、明日中央峡震館で表間パレに し、明日中央峡震館で表間パレに をするへけふの八黒き組織の

為王商院 與8599ts

な学校前の高等

・事を宣傳する爲の特に大勉強で左記の通り御往文に應じまず、只見ていたゞ質部を設ける場になります。支部人間には相當信用を有して居りますが今回とは一の一個一社一文は、是非大連唯一の世典金店へ!!

金融 (電話八六二人會

シンへ

「それちや御主人、御目にかけま

「へえ……そんなに御念をお押し

「辣鹿さして順きませる」は、ほけて。

桃中軒雲右衛

謝大會を成田氏がクランクして上市中行進な紀元節が配式さ市民職式さ市民職

H

活現代献部では今回の事變に於

ン・火盛かかってぬることが目に されない。たメプロダクショー たと云へよう。たメプロダクショー たと云へよう。たメプロダクショー

ウヨシ・ルヤシベス

大毎茅野氏か映畵化に

たまでであるに表三郎一派の歌歌ではファンに動いないこの歌歌ではファンに動いないこの歌歌ではファンに動いないが徐明

今日の映畵さる出鉄

0

活

佐々木監督以下

日活俳優來連

た若いながあった。 そうした瞬ぎの職く、こある夜のの流れなくんで、太平の夢に耽ってるたぼの人々の心を、夜毎に印なの上に眠るやうに脅かしてるための流れなくない。 後のやうな時候としば、まながら地獄の檜 その鈴を張つたやうな黒嘘で、に お人のだんちつさ見ながら、 がないがならのさ見ながら、

ごのやうな胎物か、無見

僧さして かきたいさ 思つて かりま 品物さへ見せて聞きま

「泥棒、泥棒!」

とて、火事場のやうな瞬ぎ壁、暫さ、火事場のやうな瞬ぎ壁、暫

向きに終子戸を

博村津・子慶津高 トスヤキ・ルーオ 版名豪人特超の春

▼絶對にカブレを生ぜず又ペタ附か

酬作用を妨ぐる危険なし、從つて を來さず呼吸運動、皮膚の新陳代

の部疾患の重患者、乳幼兒の肺炎

液狀なるが故に廣汎なる無部に應

試験官が強いたの

頭脑

らかっと

るも皮孔の閉塞。魚部の緊緊

ず寧ろ爽快の内に治療する

三回の交換にて足り普通

空也のモナカ

\$

茶々い

つぷくきこし

腰、安静を妨ぐる事なし。

意に濃度な加碱し得

湯又は水にて稀疇しタオル、が1用法又頗る簡便。十倍乃至廿倍に

適應症並びに皮膚の强弱に依り隨

のみのコバタ

\$1.

憚りも

なら烟草めせ

原店 にあり

めせ

スモカ

ご悲劇桃中軒雲右衛門 錢開放 に布濕いし正

液 濕布

流 感 炎

用を附與せしめたる川法至便の液狀渦 全に補ひ更に殺菌、皮膚炎療防等の作 本劑は「從來の瀑布療法の欠點」を完 布劑にして特に胸部疾患に對してはキ ルの温布に優るものなし。

の手當に

X-03

内地より

軍人學生 の視察園

の方々

い事はきつど皆様のお氣に其清新なる装飾と氣持のよ も御利用を歓迎いたします

御座います一卓以上幾卓で

館職製棚

というには、これには、これのでは、これには、これがいるできないとのできない。

大連連館街銀座通祭町角

人氣焦點北京料理

室四百人様迄は大头夫で「一年の一年人の經營のする弊館の

A PROPERTY OF

+

一日公開

い時間・明きからくり

十一日よりの番組

Ċ

新

撰

大河內傳次即主演

野川男は

(51)

(可國帝使郭桓三第)

計した」 「くざいわ、二度さ云はないから 十四日大連に來ることになった

銀座セレナーデ

公 版 放 一 味 線

監督千葉泰樹・主演松枝つる子

では、今日は三條地殿で駅東の都と、 地域では夜か日に吹いでの血 はい 地域では夜か日に吹いでの血 はい が呼ば、昨日は五條の通りで動 では、今日は三條地殿で駅東の首。

のは大したものな

物能二つ・

を二三度、ペヨコンと下げた。 を二三度、ペヨコンと下げた。

嫁花の獄牢 怪奇と探信趣味の頂

映寫時間

御む人この番頭さんに遊しな」

金を二包、慄える手で番頭に波

を執った 高江漢(阪東妻 死刑より 救ふため二度 十日封切 國

RR

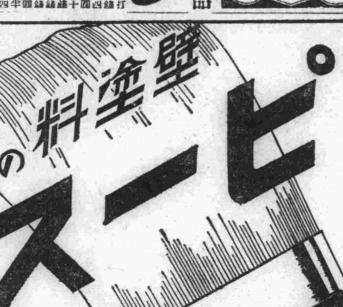
何定·裝包 飲廿間一 五〇〇三大 貸 十 五 五〇〇一小

全國薬店に販賣す。 詳細文献御申越次第送是

大阪市東區高麗橋二年發覽元 懿松 下 商店 製造 大阪市東區南久太郎町二

御宴会場 入院應奪 科兒小 院醫原相





ーとゼンソクに無くてはならぬ

三十錢(二百分) 五十錢(四日分)

能の防災が、氣管技刀タル、咽喉カタル等のは、際に蓄効ありかぜのセー、百日ゼキ、ゼンソク、魔警、及び肺結液、肺炎

振替貯金は大阪三六六番へ御往文は郵祭代用で願ます

も、ピタリと効力を現はして、セキを観め、タンを誇り、聴動を治し、カタル、で管従カタル、腓鉛核、雌类、脱酸が等の頑固なセキやタンに 関係をラクにし、胸を聞き、第分を製作ならしむる、病者の信頼器き最 「お犬セキ菜」は、かぜのセキは勿配センソクにも、百日味にも、咽喉 器に関係が深いから、たとへ軽いセキでも、油脚をすると思ばの 雛 伝

328

新良繁である。小児の原因なセキや百日咳に効果物めて偉大である。

となって生命が脅かされる事となり易い かせを引いても、セキが出なければ治りも早いが、セキは人気ない吸

大阪北海一丁目 **多天堂株式會**

だった。 数明論の強く、ひさかどの大級解系のやうた詩を感じ、振りたから(失露な) 一般に重子を避り上げて機意い解説
たまモムロに喋るのである。

か次つたのは誰です?へ

この一代から

衆天は一路二十

やうだ。酸へば、ムセイ・トクガ いが、東京にはシネマ馬鹿が多い 大連では飛さ網無さいつても可

品取

扱 目

其物木各 他鶲材種 食石 機 料類硫械 品、安

始開

七一〇一番

泉温子崗湯

所 在 地 地 形

牛莊、安東縣、

奉天、

長春、

哈爾濱

井物産株

會社大連支店

大連市山縣通行八十二番地

業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、

運送業、

保険並に船舶代理

代理店

S

製場互社弊

5

制産

න පොපත පොපොපොපොපො පොපො පොපො පො

高級瑞西

ジ 提

賦

一回

金御拂と同時に現品先渡

ア蓄音器

紫檀細互責任販賣 GUI Section 1 人連伊勢町(吉野町角) **夕那各省土産品** 回支公

進れる 大連市佐渡町三〇 大連市佐渡町三〇 **電話六七四八番**

28 頭取。材井各太郎 電話·四· 銀行

下の効能も用ひざる人は知淋病消渇に此の名薬あ • 林

大連市聖德新四丁目 大連市聖德新四丁目 屋響語之一語

鮮かな襟化粧

種類と定價

御 鎖 相業 談に開 應す じまる総て すの

山陽谷地版資店光光や飛洋 商 堂堂店堂行 電話六五四四番

商商 洋商洋店會堂行會行

¥ 60.00 No. 60 發賣元

會

話六四

七會

チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる

第三回化學工業 博覽會優良賞受領大日本俳優協會推獎 日本俳優學校專用 貴婦人 御愛用

三木元子女史創製

發賣元

◎ミツワ石鹼本舗 東京・南國(日本橋属米澤町)東京・南國(日本橋属米澤町) 一番 電略 〇ミヤ 八番 一〇四四 八番 丸見屋商店

क 五サ •" き 13 IJ ٤ 2



(日曜金)

門專科内

数楠トランク



製品

會株 鐵道線將附屬品 大連

本店 大連市沙河口臺山町 容器、媛姬類 本店 大連市沙河口臺山町

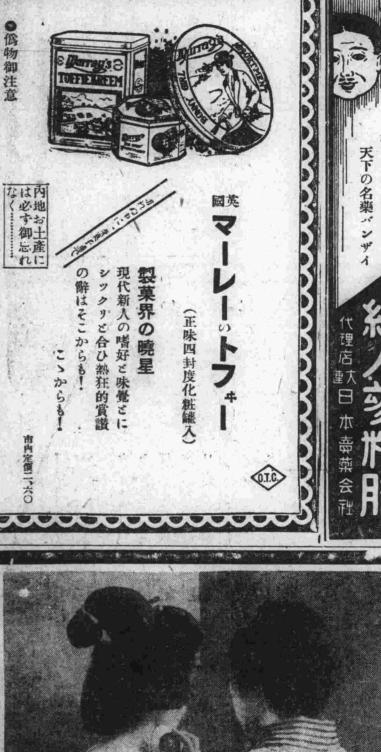
一村、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並一汽罐、汽機煙突、各種機或 完城京 類、鏡籍的 機械製作所 酸素瓦斯 **電話ニニロニを**



標もこれで治つた 要目 天下の名楽バ 建日 本豪菜会社 朝鲜蜓菜株豆会冠

富安

響能八正〇〇世



粉に水を作りにから、清潔なたら水をで焼きのとして焼きのというでは、 たら水をで焼きのというで はない から、 では、 たっかない から かまくばさい から かまに残った に かった は で を 足して 焼き に かった 自 粉を に かった 自 おった 自 粉を に がった 自 粉を に がった 自 粉を に がった 自 粉を に かった 自 かった 自

• 偽物御注意

党いてから水刷毛 から た牡丹刷毛が に冴えが出ます すると 塗の仕上には 白粉は一層沈んで 一層有效であります 特に分子が細かです 粉を些し含ませ

其仕上り



附着伸びが空前の自粉だからです 苦も無く 見事に出來上りま 何んなに化粧馴れない ロ 類 クコ クウ 白 化 クリーム 自和 エムドムグ は認税運賃を加む 金三十五錢

四煉(白・肌色)各金二十銭 水 (白・肌色)各金二十五銭 水 (白・肌色)各金二十五銭 松 松 水 (白・肌色)各金二十 銭 化 粧 水 金二十 銭 金四 十 銭 金四 十 銭

方にも

白粉下無して